教員向けアンケート
集計結果

詳細版
※回答数・割合入り

令和７年２月７日（金）

信州学び円卓会議運営委員会

長野県教育委員会事務局

教員向けアンケートの概要

目　的

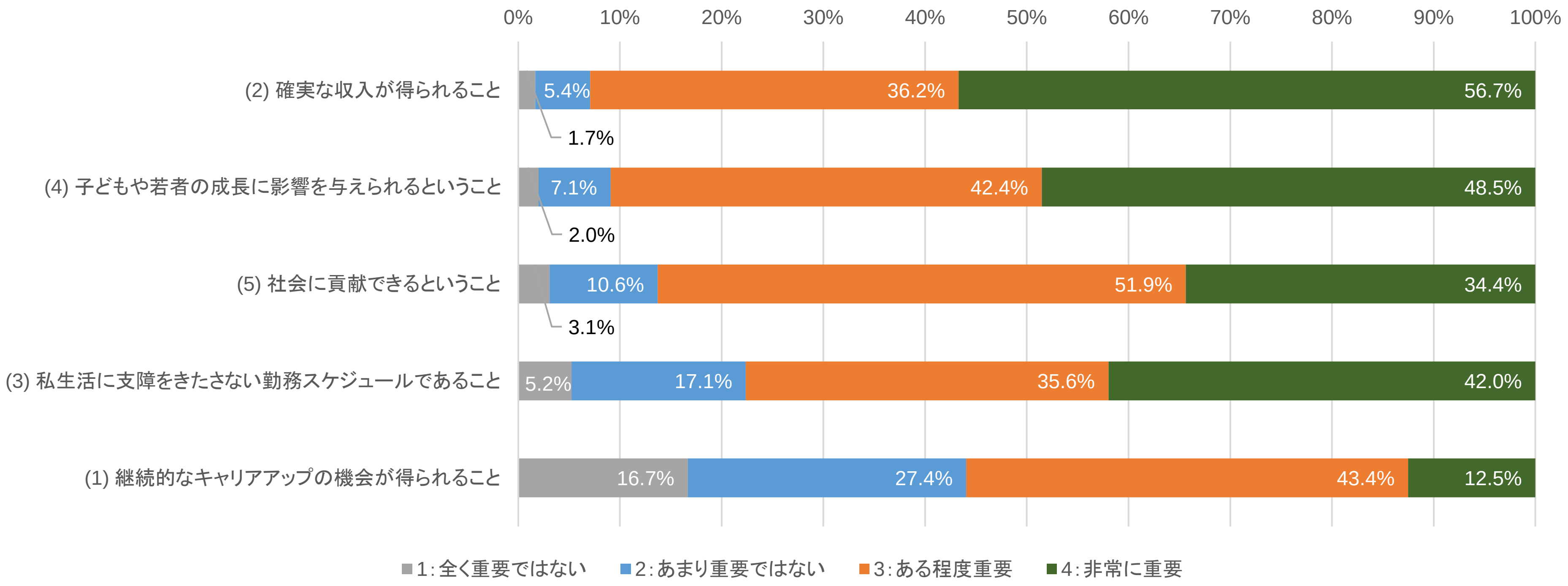
教員のチャレンジや働き方改革等の促進に向けた具体的な方策の検討に当たり、教員の声を反映するとともに、教員・学校現場の実情を県民に対して示すことで、県全体で教員を支えていこうという機運醸成を図る

調査対象	小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する管理職及び授業をお持ちの教員
調査方法	一般的な標本調査※1で用いられる手法の一つである、層別抽出※2に準じて実施 （校種別の教員数や地域等、母集団（長野県内の教員）の特性を考慮） ※1　ある集団の中から一部の調査対象を選び出して調べ、その情報を基に、元の集団全体の状態を推計するもの ※2　母集団を複数の層（グループ）に分け、各層から必要な数の調査対象を無作為に抽出する方法
調査項目	・「教員用」、「管理職用」に分けて調査票を作成 ・働き方や教員研修の現状、仕事の満足度等について、TALIS（OECD国際教員指導環境調査）を参考に調査
調査期間	７月上旬から８月上旬
配布・回答数	配布数：2,028人 回答数：1,054人（教員：776人、管理職：278人）　※回答率：52.0%
留意事項	・本アンケートは、学校名や個人名を記入する項目はなく個人が特定されることはない ・回答は強制ではなく、協力いただける方に任意で回答をいただいたもの

教員

（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校）

あなたにとって、教員になる際に以下のことはどれぐらい重要でしたか。



（回答数（人）／割合（%））

	(2) 確実な収入が得られること	(4) 子どもや若者の成長に影響を与えられるということ	(5) 社会に貢献できるということ	(3) 私生活に支障をきたさない勤務スケジュールであること	(1) 継続的なキャリアアップの機会が得られること
4：非常に重要	368人 / 56.7%	315人 / 48.5%	223人 / 34.4%	272人 / 42.0%	81人 / 12.5%
3：ある程度重要	235人 / 36.2%	275人 / 42.4%	337人 / 51.9%	231人 / 35.6%	281人 / 43.4%
2：あまり重要ではない	35人 / 5.4%	46人 / 7.1%	69人 / 10.6%	111人 / 17.1%	177人 / 27.4%
1：全く重要ではない	11人 / 1.7%	13人 / 2.0%	20人 / 3.1%	34人 / 5.2%	108人 / 16.7%
回答母数（n=）	649人	649人	649人	648人	647人

※割合について、端数処理の関係上、内訳の合計は必ずしも100%にならないことに留意（以下同じ）

直近の「通常の一週間」において、あなたに求められている仕事に、合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。

（単位：時間）

勤務学校種	平均時間
小学校	50.87
中学校	59.12
義務教育学校	54.00
特別支援学校（小学部）	54.37
特別支援学校（中学部）	48.39
特別支援学校（高等部）	50.45

この合計のうち、直近の「通常の一週間」において、およそ何時間（1時間⇒45分、50分等の授業時間）授業をしましたか。

（単位：時間）

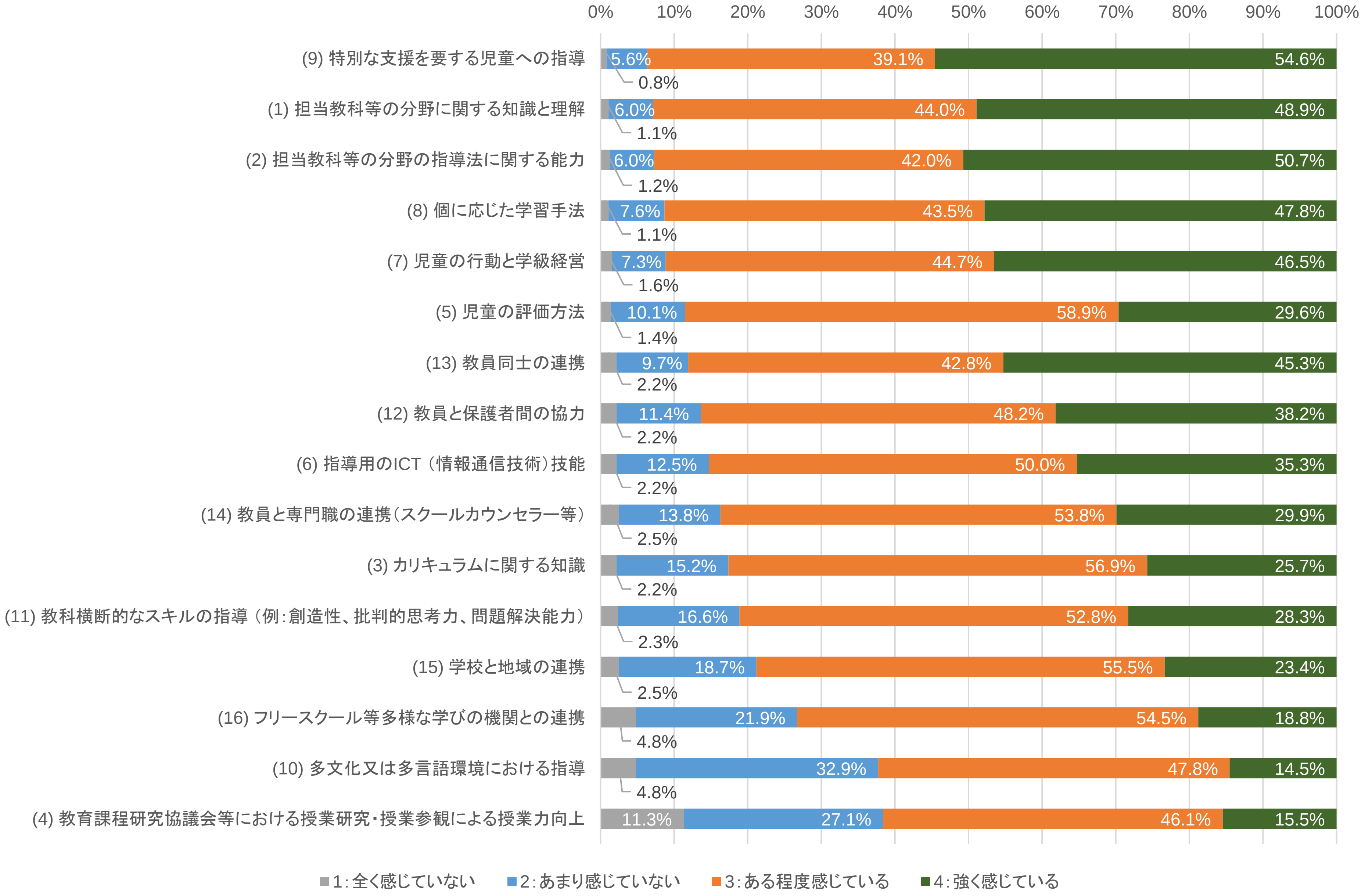
勤務学校種	平均時間
小学校	24.15
中学校	19.49
義務教育学校	17.72
特別支援学校（小学部）	17.07
特別支援学校（中学部）	16.50
特別支援学校（高等部）	18.18

直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。

（単位：時間）

勤務学校種	「(1)学校内外で個人で行う授業の計画や準備」の平均	「(2)学校内での同僚との共同作業や話し合い」の平均	「(3)児童生徒の課題の採点や添削」の平均	「(4)児童生徒に対する教育相談（例：監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導）」の平均	「(5)学校運営業務への参画」の平均	「(6)一般的な事務業務（教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務を含む）」の平均	「(7)教員研修」の平均	「(8)保護者との連絡や連携」の平均	「(9)課外活動の指導（例：放課後の部活動など）」の平均	「(10)その他の業務」の平均
小学校	8.45	4.45	4.21	1.32	2.39	4.95	1.01	1.18	0.49	1.44
中学校	8.09	3.74	4.21	1.99	3.53	5.47	1.06	1.35	6.23	2.63
義務教育学校	4.83	3.39	3.89	1.78	3.24	4.11	1.50	0.67	1.00	1.14
特別支援学校（小学部）	7.04	4.89	1.74	2.67	4.56	7.04	1.19	1.17	0.04	1.22
特別支援学校（中学部）	5.79	4.32	1.54	2.21	2.96	8.00	1.77	1.39	0.14	1.46
特別支援学校（高等部）	9.45	4.32	1.00	2.09	2.82	8.02	1.09	0.77	0.39	0.64

以下の各領域について、それぞれどの程度教員研修の必要性を感じていますか。



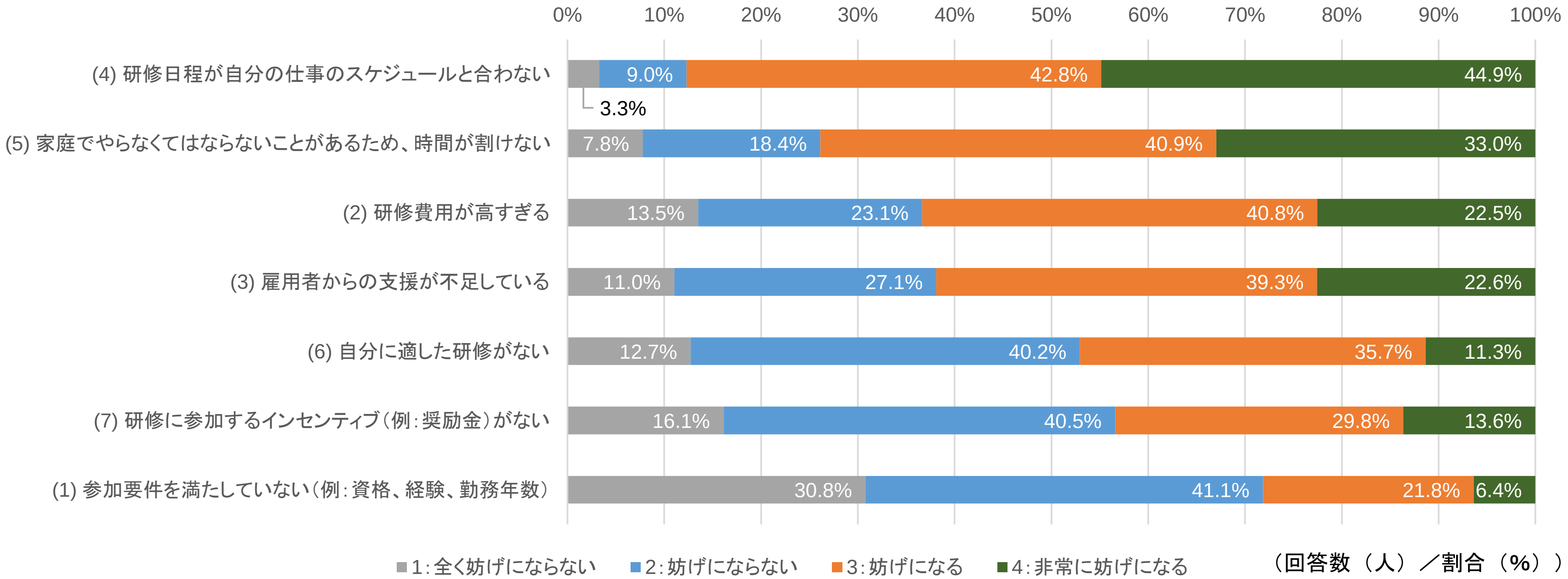
以下の各領域について、それぞれどの程度教員研修の必要性を
感じていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(9) 特別な支援を要する児童への指導	(1) 担当教科等の分野に関する知識と理解	(2) 担当教科等の分野の指導法に関する能力	(8) 個に応じた学習手法	(7) 児童の行動と学級経営	(5) 児童の評価方法	(13) 教員同士の連携	(12) 教員と保護者間の協力
4：強く感じている	352人 / 54.6%	316人 / 48.9%	327人 / 50.7%	309人 / 47.8%	300人 / 46.5%	191人 / 29.6%	293人 / 45.3%	247人 / 38.2%
3：ある程度感じている	252人 / 39.1%	284人 / 44.0%	271人 / 42.0%	281人 / 43.5%	288人 / 44.7%	380人 / 58.9%	277人 / 42.8%	312人 / 48.2%
2：あまり感じていない	36人 / 5.6%	39人 / 6.0%	39人 / 6.0%	49人 / 7.6%	47人 / 7.3%	65人 / 10.1%	63人 / 9.7%	74人 / 11.4%
1：全く感じていない	5人 / 0.8%	7人 / 1.1%	8人 / 1.2%	7人 / 1.1%	10人 / 1.6%	9人 / 1.4%	14人 / 2.2%	14人 / 2.2%
回答母数（n=）	645人	646人	645人	646人	645人	645人	647人	647人

	(6) 指導用のICT（情報通信技術）技能	(14) 教員と専門職の連携（スクールカウンセラー等）	(3) カリキュラムに関する知識	(11) 教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力）	(15) 学校と地域の連携	(16) フリースクール等多様な学びの機関との連携	(10) 多文化又は多言語環境における指導	(4) 教育課程研究協議会等における授業研究・授業参観による授業力向上
4：強く感じている	228人 / 35.3%	193人 / 29.9%	166人 / 25.7%	183人 / 28.3%	150人 / 23.4%	121人 / 18.8%	94人 / 14.5%	100人 / 15.5%
3：ある程度感じている	323人 / 50.0%	347人 / 53.8%	367人 / 56.9%	341人 / 52.8%	356人 / 55.5%	351人 / 54.5%	309人 / 47.8%	298人 / 46.1%
2：あまり感じていない	81人 / 12.5%	89人 / 13.8%	98人 / 15.2%	107人 / 16.6%	120人 / 18.7%	141人 / 21.9%	213人 / 32.9%	175人 / 27.1%
1：全く感じていない	14人 / 2.2%	16人 / 2.5%	14人 / 2.2%	15人 / 2.3%	16人 / 2.5%	31人 / 4.8%	31人 / 4.8%	73人 / 11.3%
回答母数（n=）	646人	645人	645人	646人	642人	644人	647人	646人

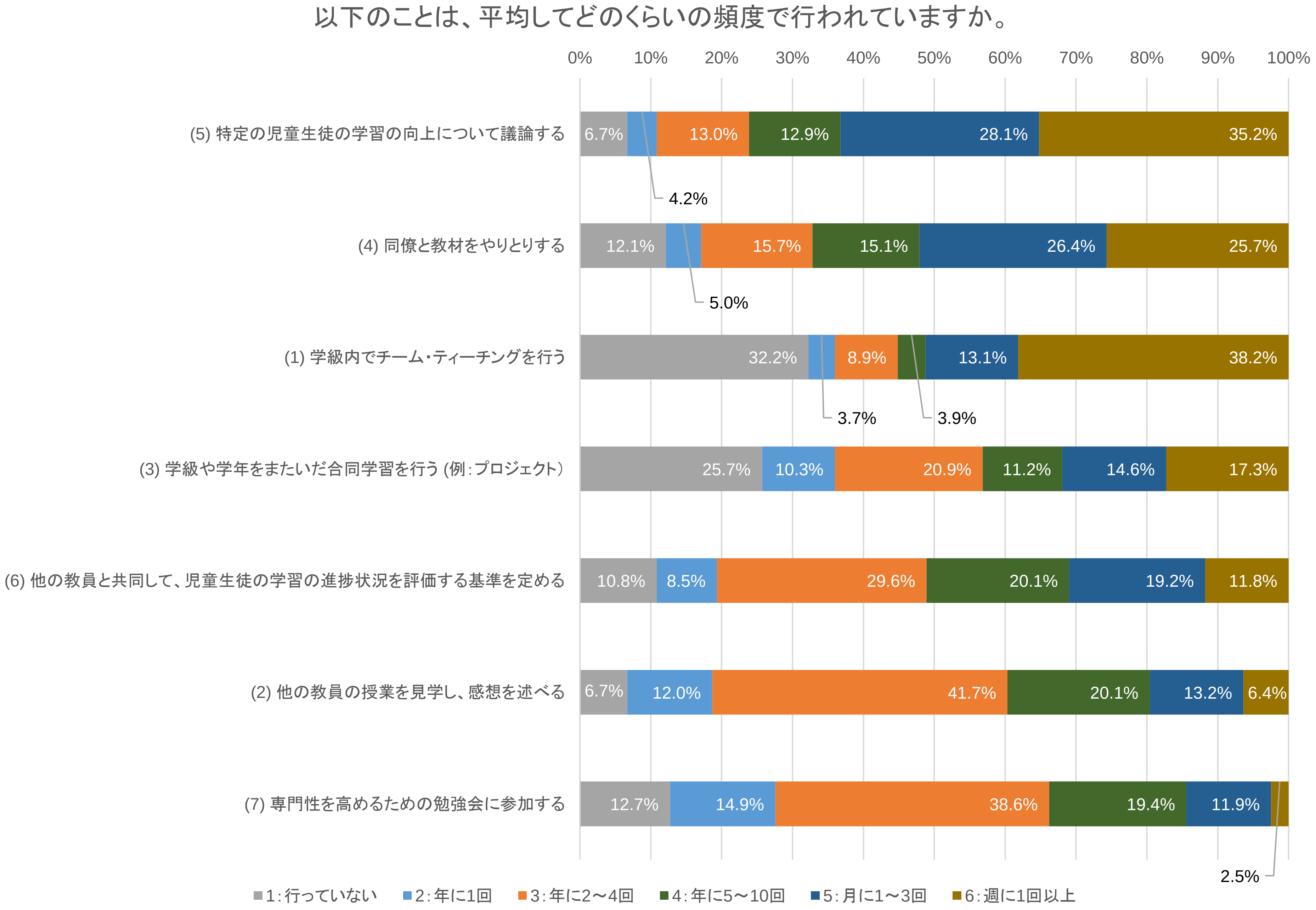
教員研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると思いますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(4) 研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない	(5) 家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない	(2) 研修費用が高すぎる	(3) 雇用者からの支援が不足している	(6) 自分に適した研修がない	(7) 研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない	(1) 参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数）
4：非常に妨げになる	288人 / 44.9%	212人 / 33.0%	145人 / 22.5%	145人 / 22.6%	73人 / 11.3%	88人 / 13.6%	41人 / 6.4%
3：妨げになる	275人 / 42.8%	263人 / 40.9%	263人 / 40.8%	253人 / 39.3%	230人 / 35.7%	192人 / 29.8%	140人 / 21.8%
2：妨げにならない	58人 / 9.0%	118人 / 18.4%	149人 / 23.1%	174人 / 27.1%	259人 / 40.2%	261人 / 40.5%	264人 / 41.1%
1：全く妨げにならない	21人 / 3.3%	50人 / 7.8%	87人 / 13.5%	71人 / 11.0%	82人 / 12.7%	104人 / 16.1%	198人 / 30.8%
回答母数（n=）	642人	643人	644人	643人	644人	645人	643人

教員：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校



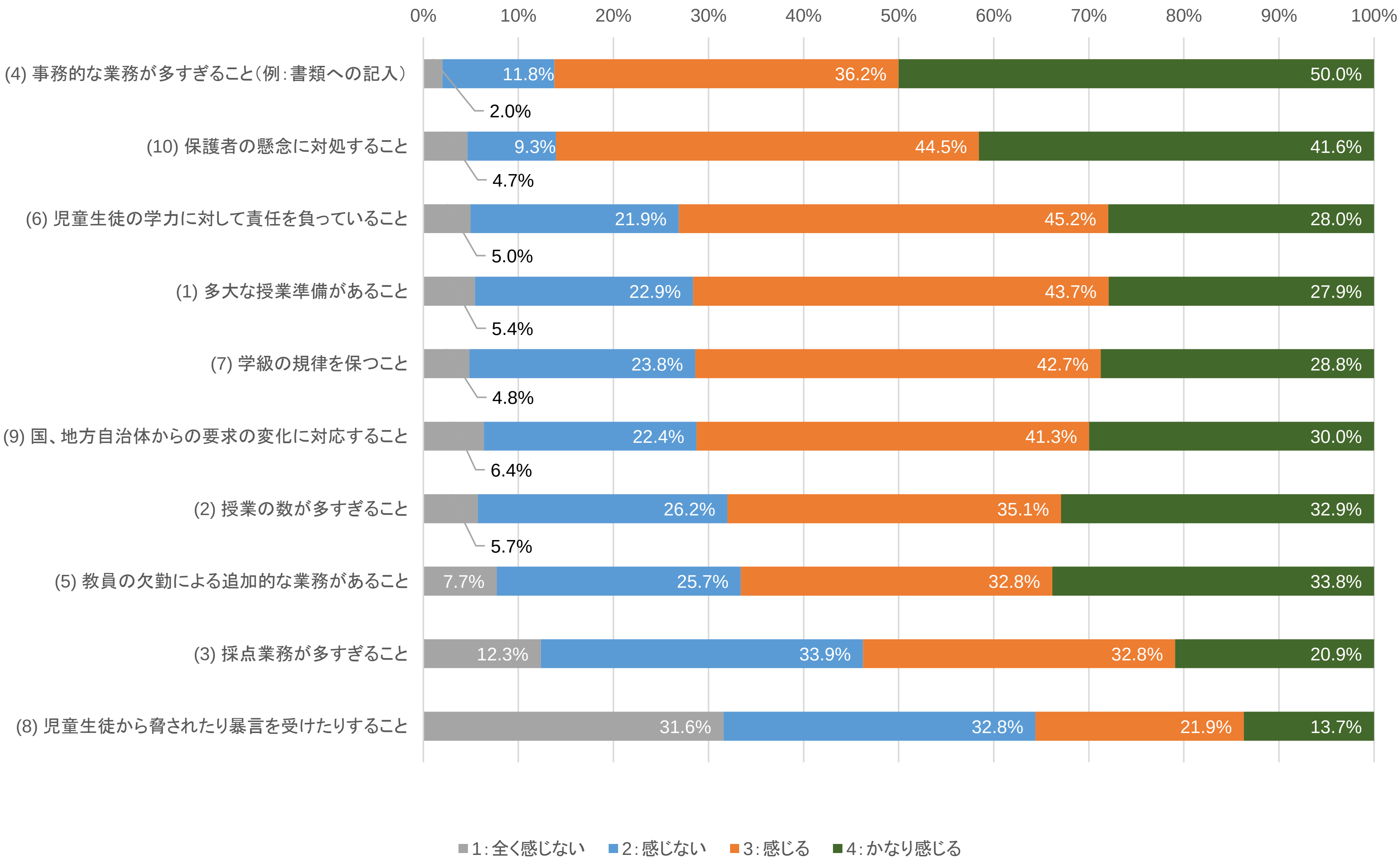
以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(5) 特定の児童生徒の学習の向上について議論する	(4) 同僚と教材をやりとりする	(1) 学級内でチーム・ティーチングを行う	(3) 学級や学年をまたいだ合同学習を行う (例：プロジェクト)	(6) 他の教員と共同して、児童生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める	(2) 他の教員の授業を見学し、感想を述べる	(7) 専門性を高めるための勉強会に参加する
6：週に1回以上	227人 / 35.2%	165人 / 25.7%	245人 / 38.2%	111人 / 17.3%	76人 / 11.8%	41人 / 6.4%	16人 / 2.5%
5：月に1～3回	181人 / 28.1%	170人 / 26.4%	84人 / 13.1%	94人 / 14.6%	124人 / 19.2%	85人 / 13.2%	77人 / 11.9%
4：年に5～10回	83人 / 12.9%	97人 / 15.1%	25人 / 3.9%	72人 / 11.2%	130人 / 20.1%	129人 / 20.1%	125人 / 19.4%
3：年に2～4回	84人 / 13.0%	101人 / 15.7%	57人 / 8.9%	134人 / 20.9%	191人 / 29.6%	268人 / 41.7%	249人 / 38.6%
2：年に1回	27人 / 4.2%	32人 / 5.0%	24人 / 3.7%	66人 / 10.3%	55人 / 8.5%	77人 / 12.0%	96人 / 14.9%
1：行っていない	43人 / 6.7%	78人 / 12.1%	207人 / 32.2%	165人 / 25.7%	70人 / 10.8%	43人 / 6.7%	82人 / 12.7%
回答母数（n=）	645人	643人	642人	642人	646人	643人	645人

教員：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

あなたの学校の業務に関して以下のことはどの程度ストレスに感じますか。

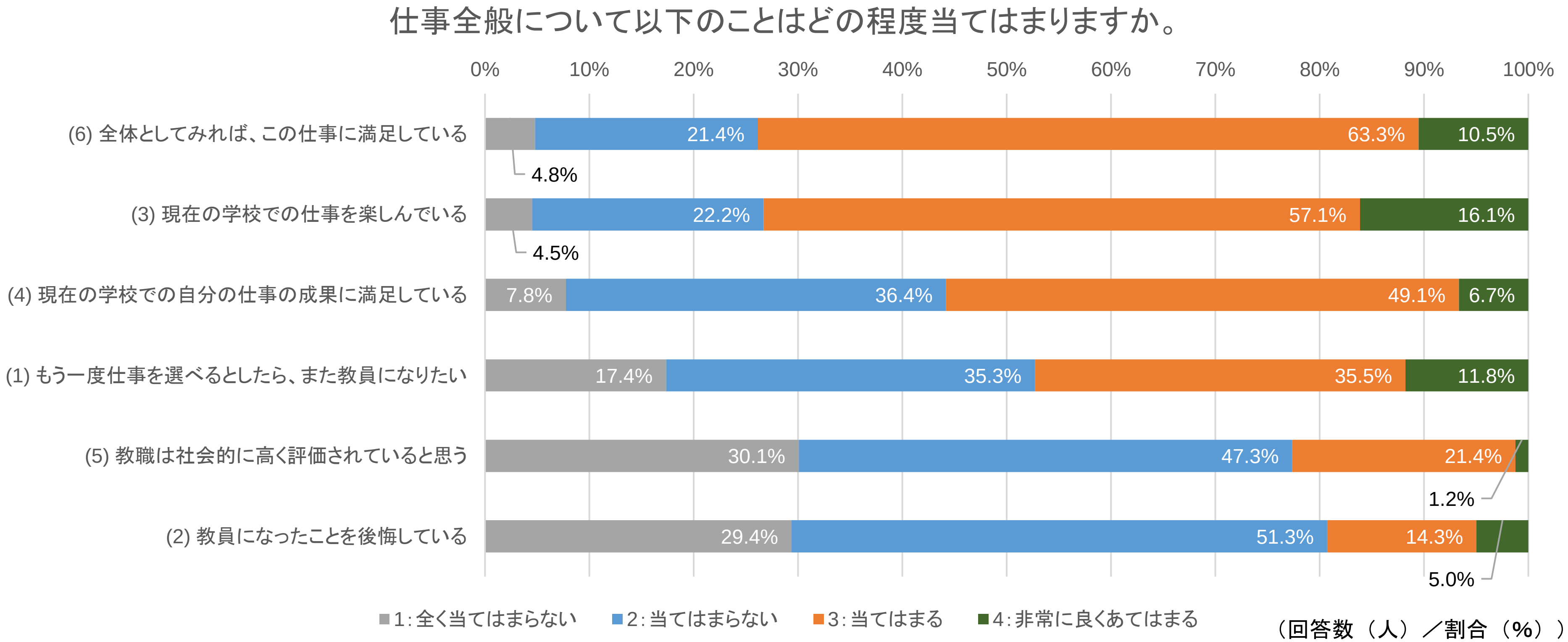


あなたの学校の業務に関して以下のことはどの程度ストレスに感じますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(4) 事務的な業務が多すぎること（例：書類への記入）	(10) 保護者の懸念に対処すること	(6) 児童生徒の学力に対して責任を負っていること	(1) 多大な授業準備があること	(7) 学級の規律を保つこと
4：かなり感じる	323人 / 50.0%	268人 / 41.6%	180人 / 28.0%	180人 / 27.9%	184人 / 28.8%
3：感じる	234人 / 36.2%	287人 / 44.5%	291人 / 45.2%	282人 / 43.7%	273人 / 42.7%
2：感じない	76人 / 11.8%	60人 / 9.3%	141人 / 21.9%	148人 / 22.9%	152人 / 23.8%
1：全く感じない	13人 / 2.0%	30人 / 4.7%	32人 / 5.0%	35人 / 5.4%	31人 / 4.8%
回答母数（n=）	646人	645人	644人	645人	640人

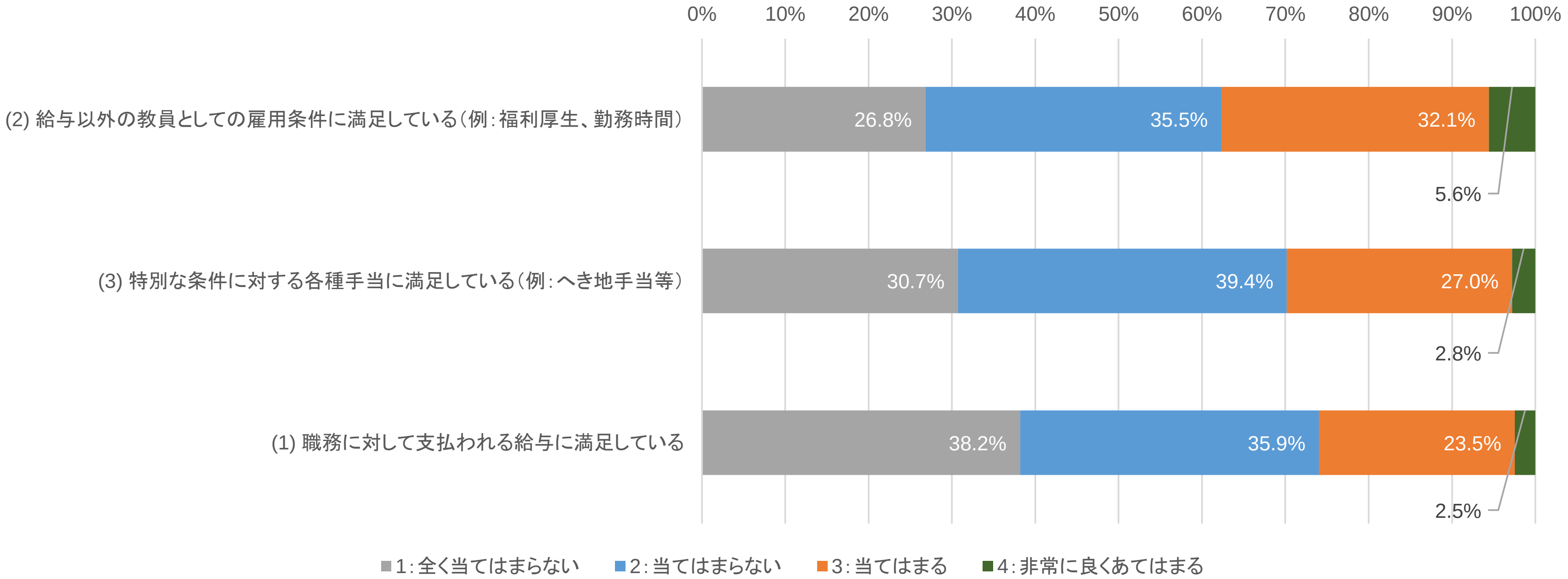
	(9) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること	(2) 授業の数が多すぎること	(5) 教員の欠勤による追加的な業務があること	(3) 採点業務が多すぎること	(8) 児童生徒から脅されたり暴言を受けたりすること
4：かなり感じる	193人 / 30.0%	212人 / 32.9%	219人 / 33.8%	134人 / 20.9%	88人 / 13.7%
3：感じる	266人 / 41.3%	226人 / 35.1%	212人 / 32.8%	210人 / 32.8%	141人 / 21.9%
2：感じない	144人 / 22.4%	169人 / 26.2%	166人 / 25.7%	217人 / 33.9%	211人 / 32.8%
1：全く感じない	41人 / 6.4%	37人 / 5.7%	50人 / 7.7%	79人 / 12.3%	203人 / 31.6%
回答母数（n=）	644人	644人	647人	640人	643人



（回答数（人）／割合（%））

	(6) 全体としてみれば、この仕事に満足している	(3) 現在の学校での仕事を楽しんでいる	(4) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している	(1) もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい	(5) 教職は社会的に高く評価されていると思う	(2) 教員になったことを後悔している
4：非常に良くあてはまる	68人 / 10.5%	104人 / 16.1%	43人 / 6.7%	76人 / 11.8%	8人 / 1.2%	32人 / 5.0%
3：当てはまる	409人 / 63.3%	368人 / 57.1%	317人 / 49.1%	229人 / 35.5%	138人 / 21.4%	92人 / 14.3%
2：当てはまらない	138人 / 21.4%	143人 / 22.2%	235人 / 36.4%	228人 / 35.3%	305人 / 47.3%	330人 / 51.3%
1：全く当てはまらない	31人 / 4.8%	29人 / 4.5%	50人 / 7.8%	112人 / 17.4%	194人 / 30.1%	189人 / 29.4%
回答母数（n=）	646人	644人	645人	645人	645人	643人

以下のことはどの程度当てはまりますか。

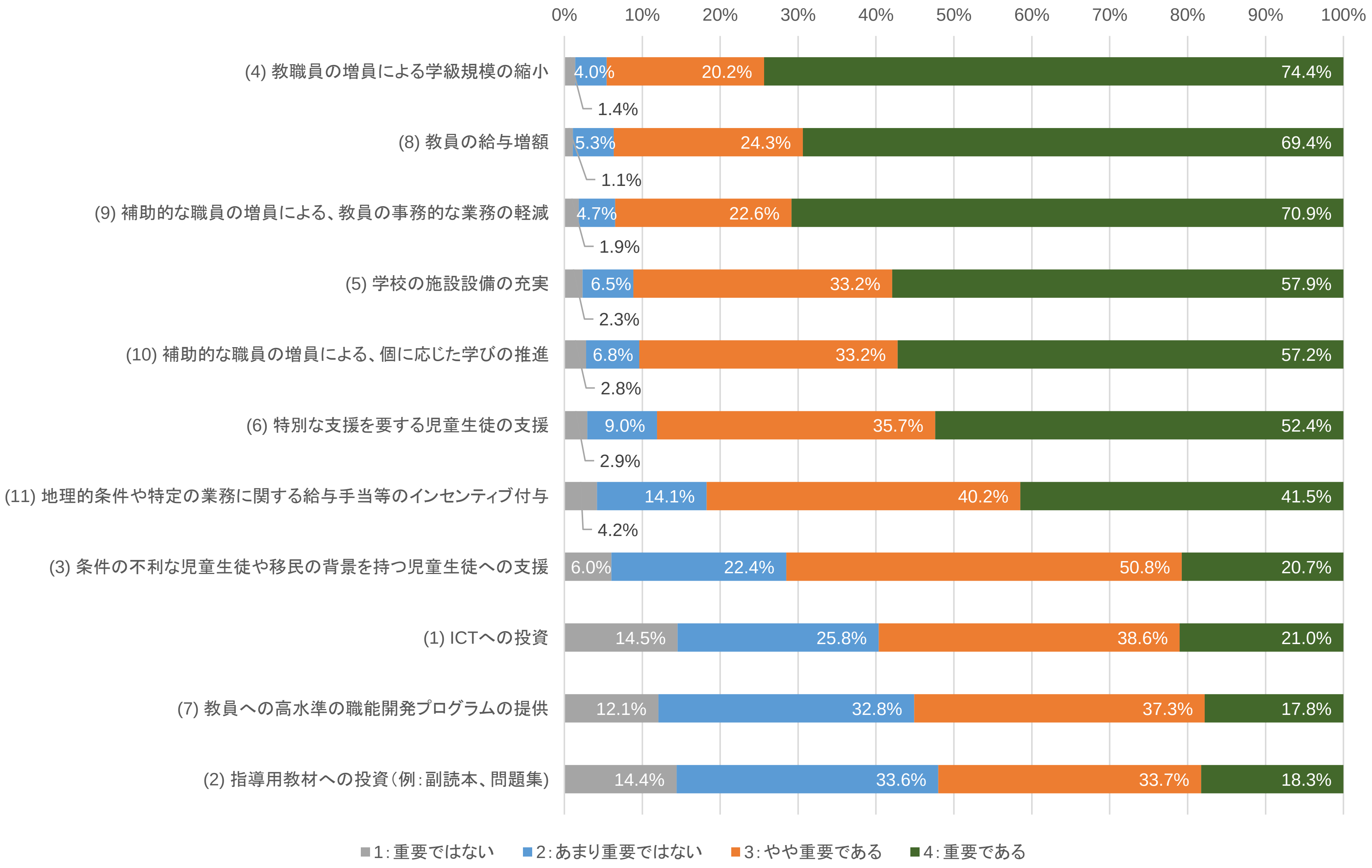


（回答数（人）／割合（%））

	(2) 給与以外の教員としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間）	(3) 特別な条件に対する各種手当に満足している（例：へき地手当等）	(1) 職務に対して支払われる給与に満足している
4：非常に良くあてはまる	36人 / 5.6%	18人 / 2.8%	16人 / 2.5%
3：当てはまる	207人 / 32.1%	174人 / 27.0%	152人 / 23.5%
2：当てはまらない	229人 / 35.5%	254人 / 39.4%	232人 / 35.9%
1：全く当てはまらない	173人 / 26.8%	198人 / 30.7%	247人 / 38.2%
回答母数（n=）	645人	644人	647人

教員：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

学校教育全体のことについてお尋ねします。もし予算が5%増加するとしたら、以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。



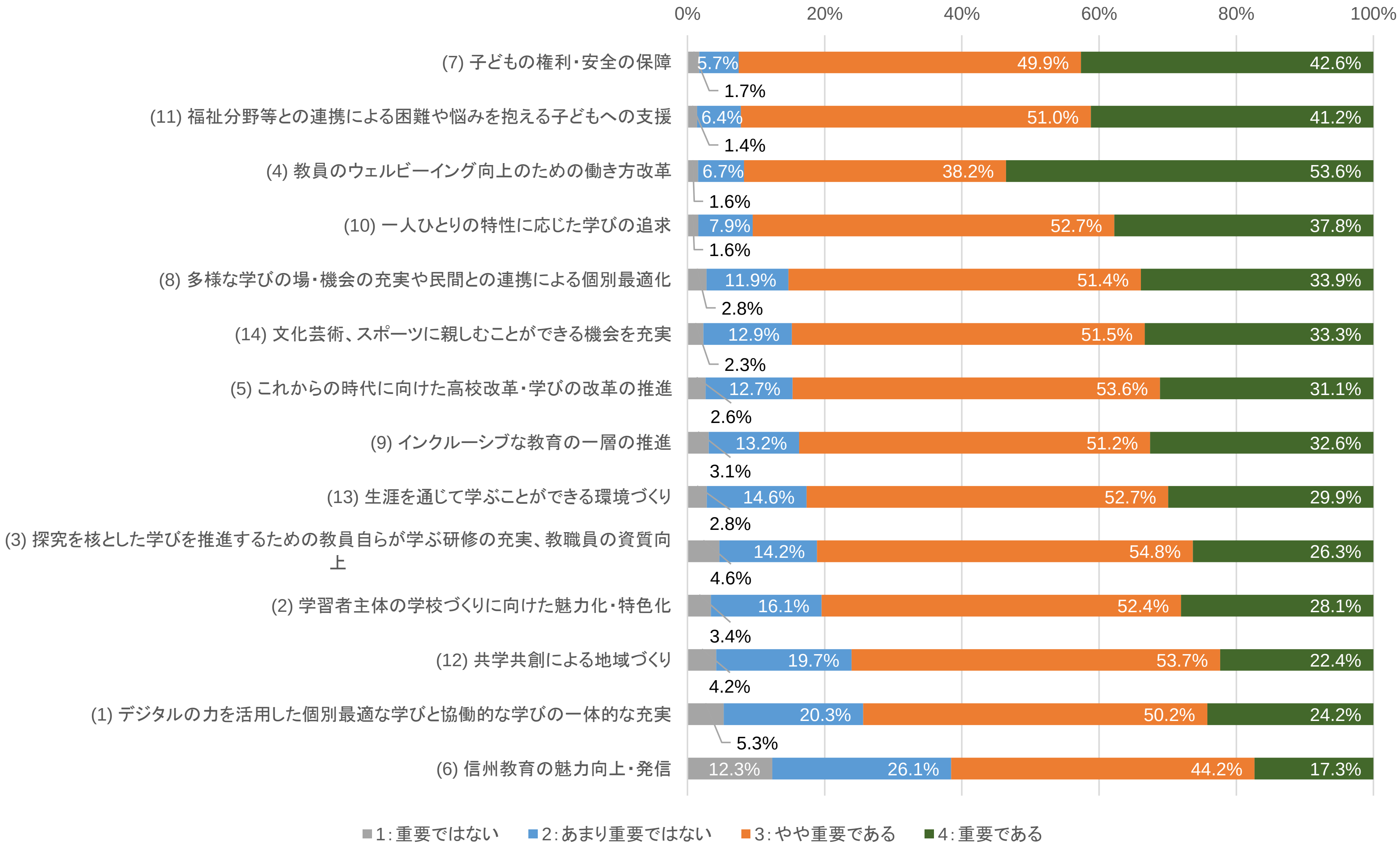
学校教育全体のことについてお尋ねします。もし予算が5%増加するとしたら、
以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(4) 教職員の増員による学級規模の縮小	(8) 教員の給与増額	(9) 補助的な職員の増員による、教員の事務的な業務の軽減	(5) 学校の施設設備の充実	(10) 補助的な職員の増員による、個に応じた学びの推進	(6) 特別な支援を要する児童生徒の支援
4：重要である	479人 / 74.4%	449人 / 69.4%	457人 / 70.9%	373人 / 57.9%	369人 / 57.2%	339人 / 52.4%
3：やや重要である	130人 / 20.2%	157人 / 24.3%	146人 / 22.6%	214人 / 33.2%	214人 / 33.2%	231人 / 35.7%
2：あまり重要ではない	26人 / 4.0%	34人 / 5.3%	30人 / 4.7%	42人 / 6.5%	44人 / 6.8%	58人 / 9.0%
1：重要ではない	9人 / 1.4%	7人 / 1.1%	12人 / 1.9%	15人 / 2.3%	18人 / 2.8%	19人 / 2.9%
回答母数（n=）	644人	647人	645人	644人	645人	647人

	(11) 地理的条件や特定の業務に関する給与手当等のインセンティブ付与	(3) 条件の不利な児童生徒や移民の背景を持つ児童生徒への支援	(1) ICTへの投資	(7) 教員への高水準の職能開発プログラムの提供	(2) 指導用教材への投資（例：副読本、問題集)
4：重要である	268人 / 41.5%	134人 / 20.7%	136人 / 21.0%	115人 / 17.8%	118人 / 18.3%
3：やや重要である	260人 / 40.2%	328人 / 50.8%	250人 / 38.6%	241人 / 37.3%	218人 / 33.7%
2：あまり重要ではない	91人 / 14.1%	145人 / 22.4%	167人 / 25.8%	212人 / 32.8%	217人 / 33.6%
1：重要ではない	27人 / 4.2%	39人 / 6.0%	94人 / 14.5%	78人 / 12.1%	93人 / 14.4%
回答母数（n=）	646人	646人	647人	646人	646人

第４次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること



第４次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

（回答数（人）／割合（%））

	(7) 子どもの権利・安全の保障	(11) 福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援	(4) 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革	(10) 一人ひとりの特性に応じた学びの追求	(8) 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化	(14) 文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実	(5) これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進
4：重要である	275人 / 42.6%	265人 / 41.2%	345人 / 53.6%	243人 / 37.8%	219人 / 33.9%	215人 / 33.3%	201人 / 31.1%
3：やや重要である	322人 / 49.9%	328人 / 51.0%	246人 / 38.2%	339人 / 52.7%	332人 / 51.4%	332人 / 51.5%	346人 / 53.6%
2：あまり重要ではない	37人 / 5.7%	41人 / 6.4%	43人 / 6.7%	51人 / 7.9%	77人 / 11.9%	83人 / 12.9%	82人 / 12.7%
1：重要ではない	11人 / 1.7%	9人 / 1.4%	10人 / 1.6%	10人 / 1.6%	18人 / 2.8%	15人 / 2.3%	17人 / 2.6%
回答母数（n=）	645人	643人	644人	643人	646人	645人	646人

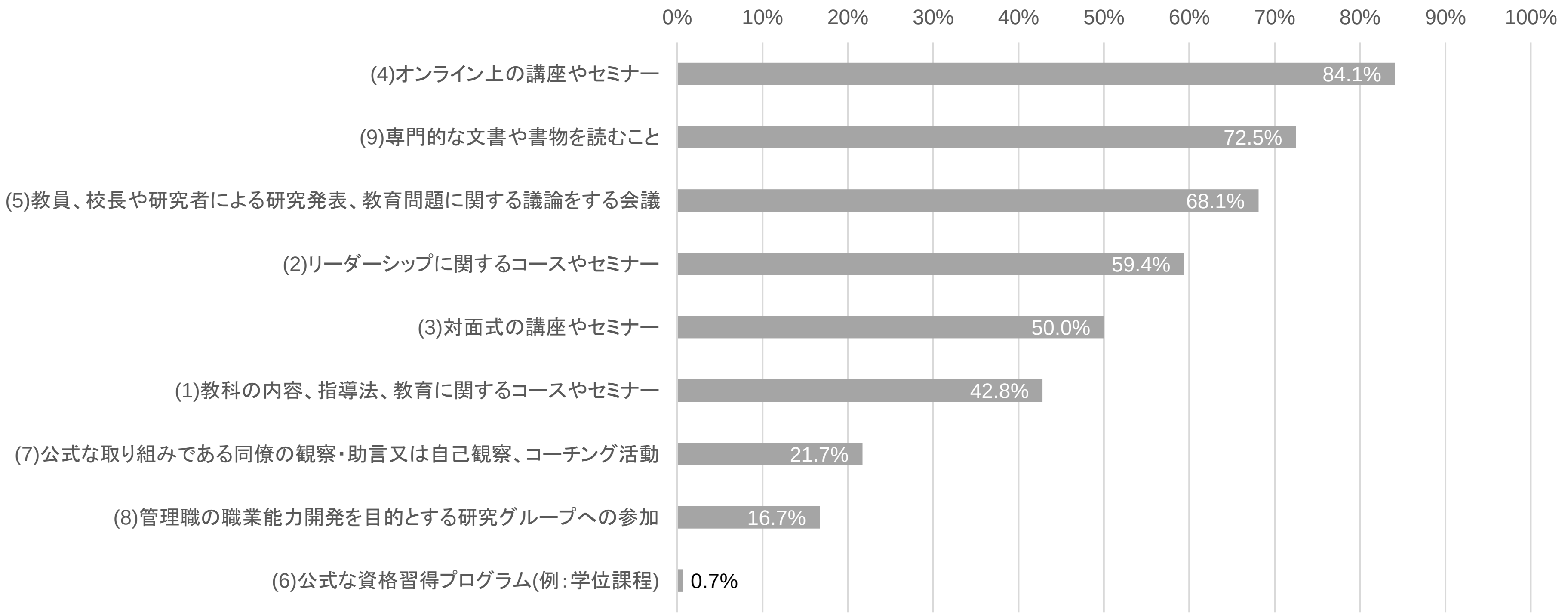
	(9) インクルーシブな教育の一層の推進	(13) 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり	(3) 探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上	(2) 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化	(12) 共学共創による地域づくり	(1) デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	(6) 信州教育の魅力向上・発信
4：重要である	210人 / 32.6%	193人 / 29.9%	170人 / 26.3%	181人 / 28.1%	144人 / 22.4%	156人 / 24.2%	111人 / 17.3%
3：やや重要である	330人 / 51.2%	340人 / 52.7%	354人 / 54.8%	338人 / 52.4%	346人 / 53.7%	323人 / 50.2%	283人 / 44.2%
2：あまり重要ではない	85人 / 13.2%	94人 / 14.6%	92人 / 14.2%	104人 / 16.1%	127人 / 19.7%	131人 / 20.3%	167人 / 26.1%
1：重要ではない	20人 / 3.1%	18人 / 2.8%	30人 / 4.6%	22人 / 3.4%	27人 / 4.2%	34人 / 5.3%	79人 / 12.3%
回答母数（n=）	645人	645人	646人	645人	644人	644人	640人

管理職

（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校）

管理職：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

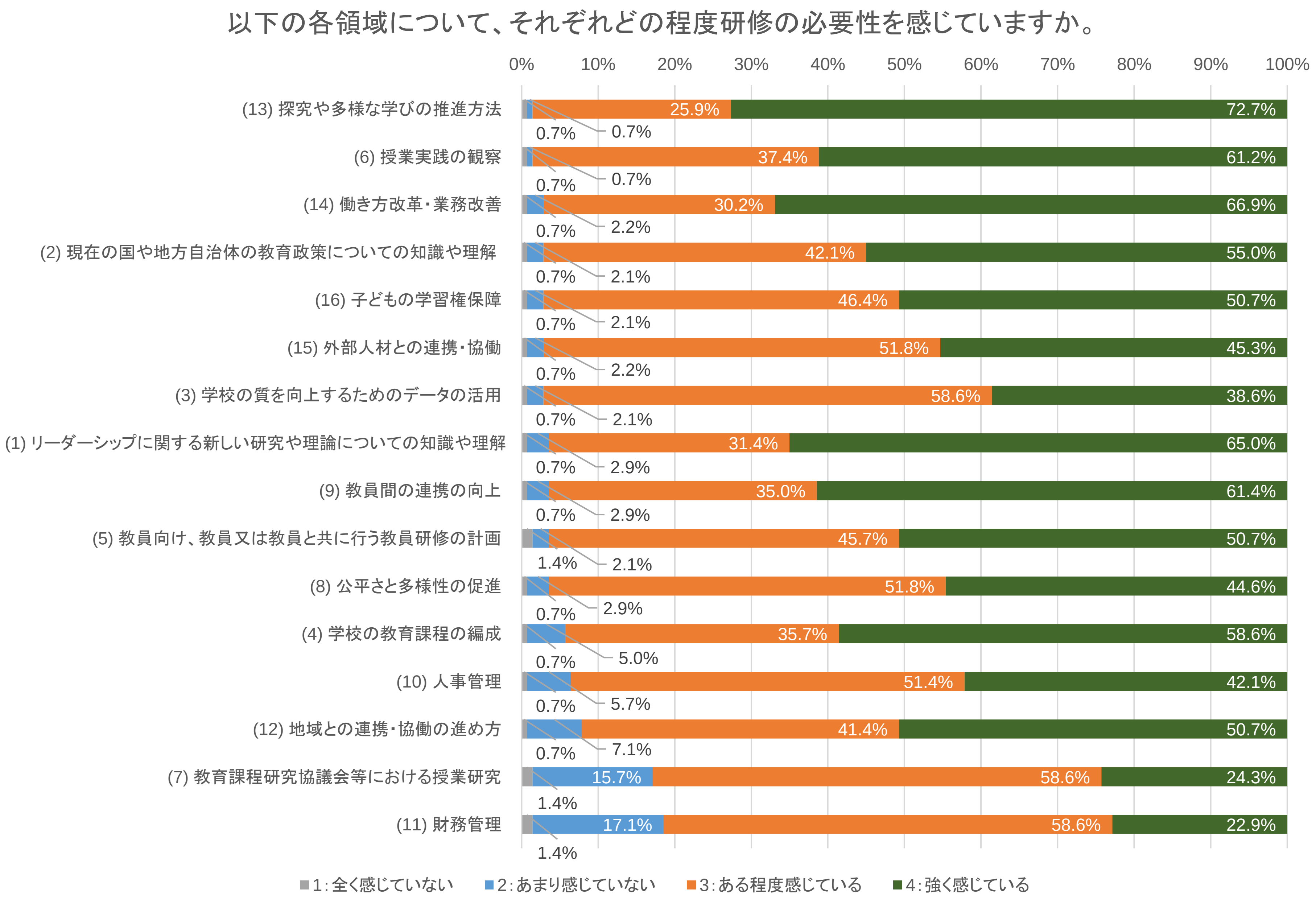
過去12か月の間に、管理職向けの研修に参加しましたか。



（回答数（人）／割合（%））

	(4)オンライン上の講座やセミナー	(9)専門的な文書や書物を読むこと	(5)教員、校長や研究者による研究発表、教育問題に関する議論をする会議	(2)リーダーシップに関するコースやセミナー	(3)対面式の講座やセミナー	(1)教科の内容、指導法、教育に関するコースやセミナー	(7)公式な取り組みである同僚の観察・助言又は自己観察、コーチング活動	(8)管理職の職業能力開発を目的とする研究グループへの参加	(6)公式な資格習得プログラム(例：学位課程)
人数 / パーセンテージ	116人/ 84.1%	100人/ 72.5%	94人/ 68.1%	82人/ 59.4%	69人/ 50.0%	59人/ 42.8%	30人/ 21.7%	23人/ 16.7%	1人/ 0.7%
回答母数（n=）	138人								

管理職：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校



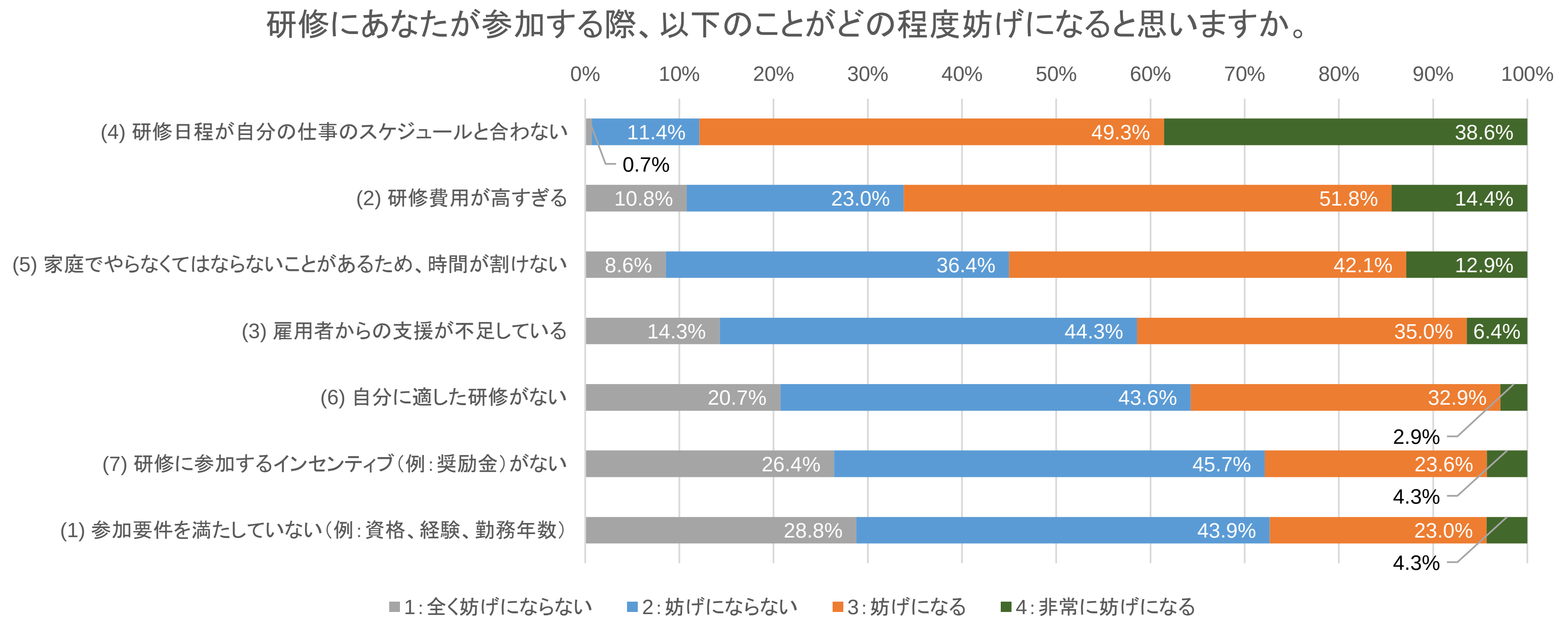
以下の各領域について、それぞれどの程度研修の必要性を感じていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(13) 探究や多様な学びの推進方法	(6) 授業実践の観察	(14) 働き方改革・業務改善	(2) 現在の国や地方自治体の教育政策についての知識や理解	(16) 子どもの学習権保障	(15) 外部人材との連携・協働	(3) 学校の質を向上するためのデータの活用	(1) リーダーシップに関する新しい研究や理論についての知識や理解
4：強く感じている	101人 / 72.7%	85人 / 61.2%	93人 / 66.9%	77人 / 55.0%	71人 / 50.7%	63人 / 45.3%	54人 / 38.6%	91人 / 65.0%
3：ある程度感じている	36人 / 25.9%	52人 / 37.4%	42人 / 30.2%	59人 / 42.1%	65人 / 46.4%	72人 / 51.8%	82人 / 58.6%	44人 / 31.4%
2：あまり感じていない	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	3人 / 2.2%	3人 / 2.1%	3人 / 2.1%	3人 / 2.2%	3人 / 2.1%	4人 / 2.9%
1：全く感じていない	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%
回答母数（n=）	139人	139人	139人	140人	140人	139人	140人	140人

	(9) 教員間の連携の向上	(5) 教員向け、教員又は教員と共に行う教員研修の計画	(8) 公平さと多様性の促進	(4) 学校の教育課程の編成	(10) 人事管理	(12) 地域との連携・協働の進め方	(7) 教育課程研究協議会等における授業研究	(11) 財務管理
4：強く感じている	86人 / 61.4%	71人 / 50.7%	62人 / 44.6%	82人 / 58.6%	59人 / 42.1%	71人 / 50.7%	34人 / 24.3%	32人 / 22.9%
3：ある程度感じている	49人 / 35.0%	64人 / 45.7%	72人 / 51.8%	50人 / 35.7%	72人 / 51.4%	58人 / 41.4%	82人 / 58.6%	82人 / 58.6%
2：あまり感じていない	4人 / 2.9%	3人 / 2.1%	4人 / 2.9%	7人 / 5.0%	8人 / 5.7%	10人 / 7.1%	22人 / 15.7%	24人 / 17.1%
1：全く感じていない	1人 / 0.7%	2人 / 1.4%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	2人 / 1.4%	2人 / 1.4%
回答母数（n=）	140人	140人	139人	140人	140人	140人	140人	140人

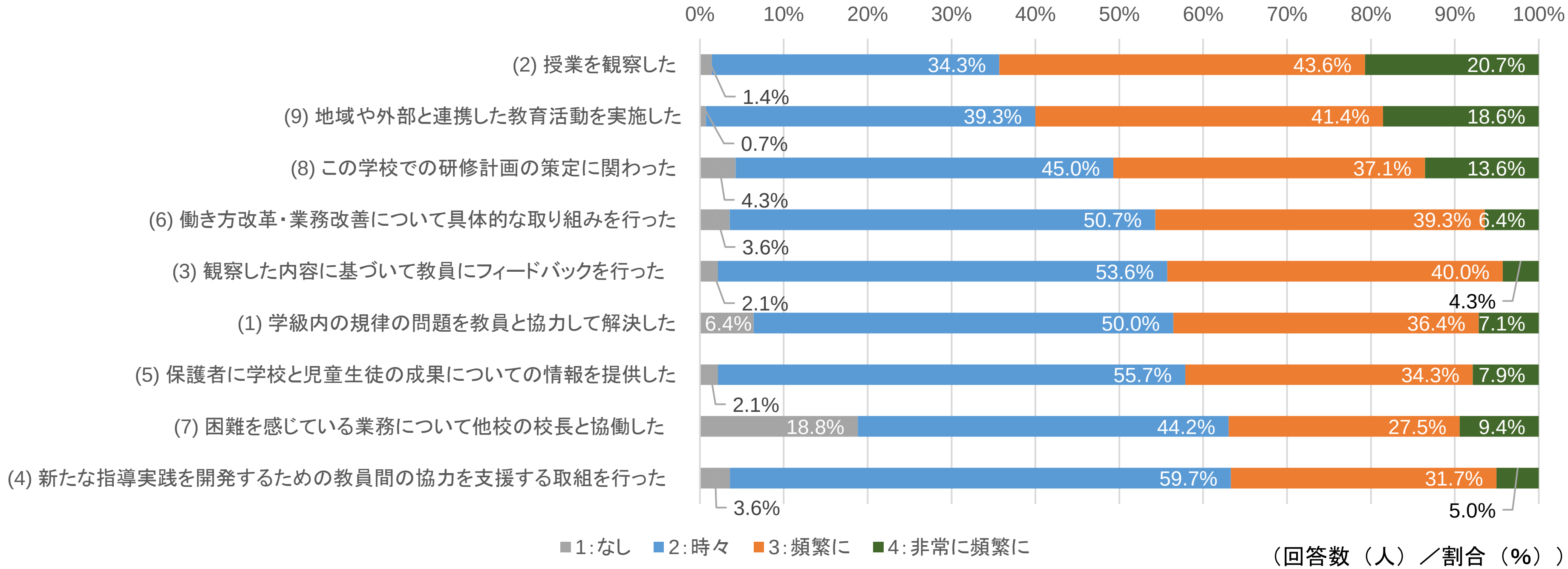
管理職：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校



（回答数（人）／割合（%））

	(4) 研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない	(2) 研修費用が高すぎる	(5) 家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない	(3) 雇用者からの支援が不足している	(6) 自分に適した研修がない	(7) 研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない	(1) 参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数）
4：非常に妨げになる	54人 / 38.6%	20人 / 14.4%	18人 / 12.9%	9人 / 6.4%	4人 / 2.9%	6人 / 4.3%	6人 / 4.3%
3：妨げになる	69人 / 49.3%	72人 / 51.8%	59人 / 42.1%	49人 / 35.0%	46人 / 32.9%	33人 / 23.6%	32人 / 23.0%
2：妨げにならない	16人 / 11.4%	32人 / 23.0%	51人 / 36.4%	62人 / 44.3%	61人 / 43.6%	64人 / 45.7%	61人 / 43.9%
1：全く妨げにならない	1人 / 0.7%	15人 / 10.8%	12人 / 8.6%	20人 / 14.3%	29人 / 20.7%	37人 / 26.4%	40人 / 28.8%
回答母数（n=）	140人	139人	140人	140人	140人	140人	139人

過去12か月の間に、あなたの学校では、以下のことをどのくらいの頻度で行いましたか。

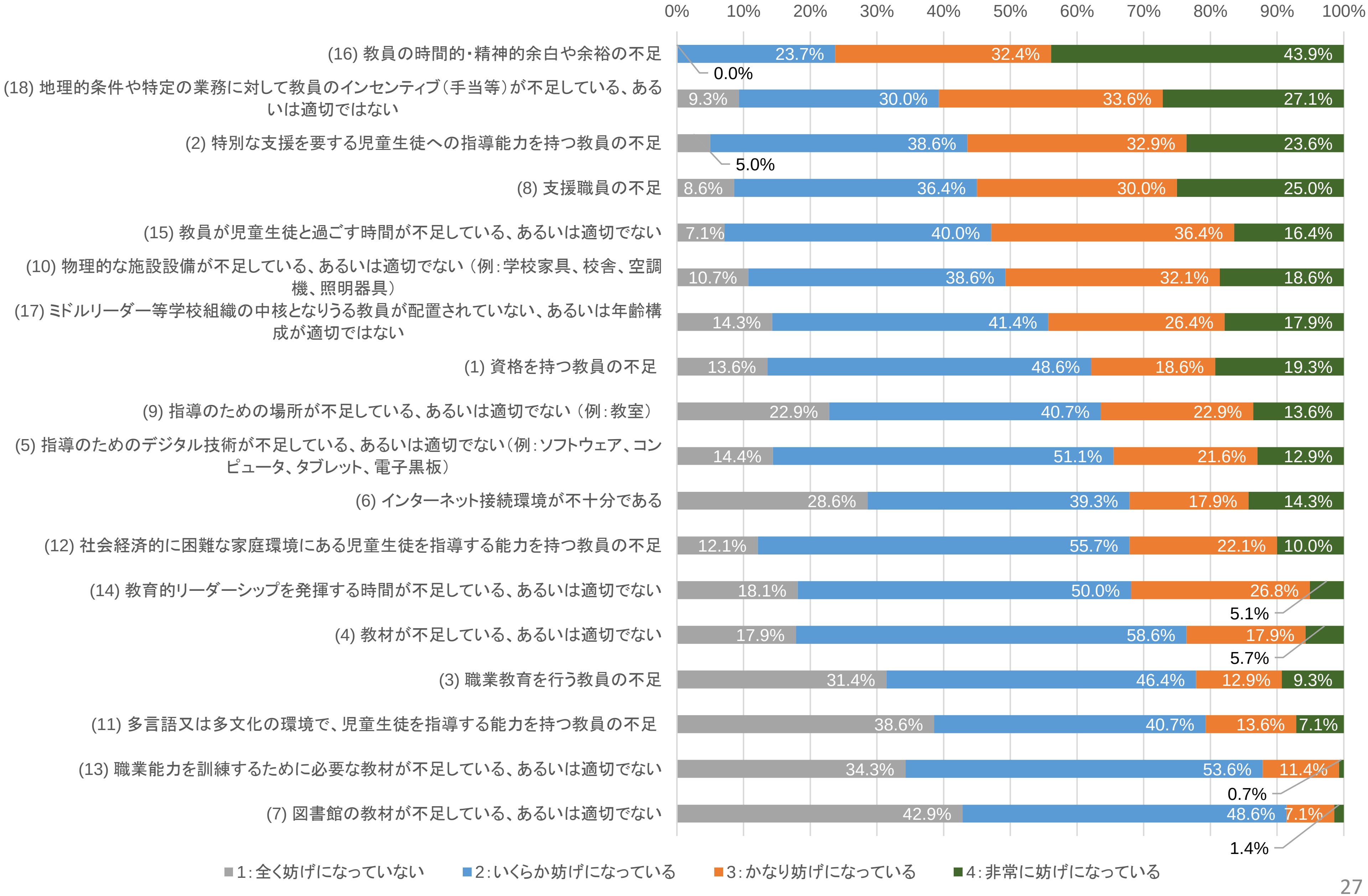


（回答数（人）／割合（%））

	(2) 授業を観察した	(9) 地域や外部と連携した教育活動を実施した	(8) この学校での研修計画の策定に関わった	(6) 働き方改革・業務改善について具体的な取り組みを行った	(3) 観察した内容に基づいて教員にフィードバックを行った	(1) 学級内の規律の問題を教員と協力して解決した	(5) 保護者に学校と児童生徒の成果についての情報を提供した	(7) 困難を感じている業務について他校の校長と協働した	(4) 新たな指導実践を開発するための教員間の協力を支援する取組を行った
4：非常に頻繁に	29人 / 20.7%	26人 / 18.6%	19人 / 13.6%	9人 / 6.4%	6人 / 4.3%	10人 / 7.1%	11人 / 7.9%	13人 / 9.4%	7人 / 5.0%
3：頻繁に	61人 / 43.6%	58人 / 41.4%	52人 / 37.1%	55人 / 39.3%	56人 / 40.0%	51人 / 36.4%	48人 / 34.3%	38人 / 27.5%	44人 / 31.7%
2：時々	48人 / 34.3%	55人 / 39.3%	63人 / 45.0%	71人 / 50.7%	75人 / 53.6%	70人 / 50.0%	78人 / 55.7%	61人 / 44.2%	83人 / 59.7%
1：なし	2人 / 1.4%	1人 / 0.7%	6人 / 4.3%	5人 / 3.6%	3人 / 2.1%	9人 / 6.4%	3人 / 2.1%	26人 / 18.8%	5人 / 3.6%
回答母数（n=）	140人	140人	140人	140人	140人	140人	140人	138人	139人

管理職：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。



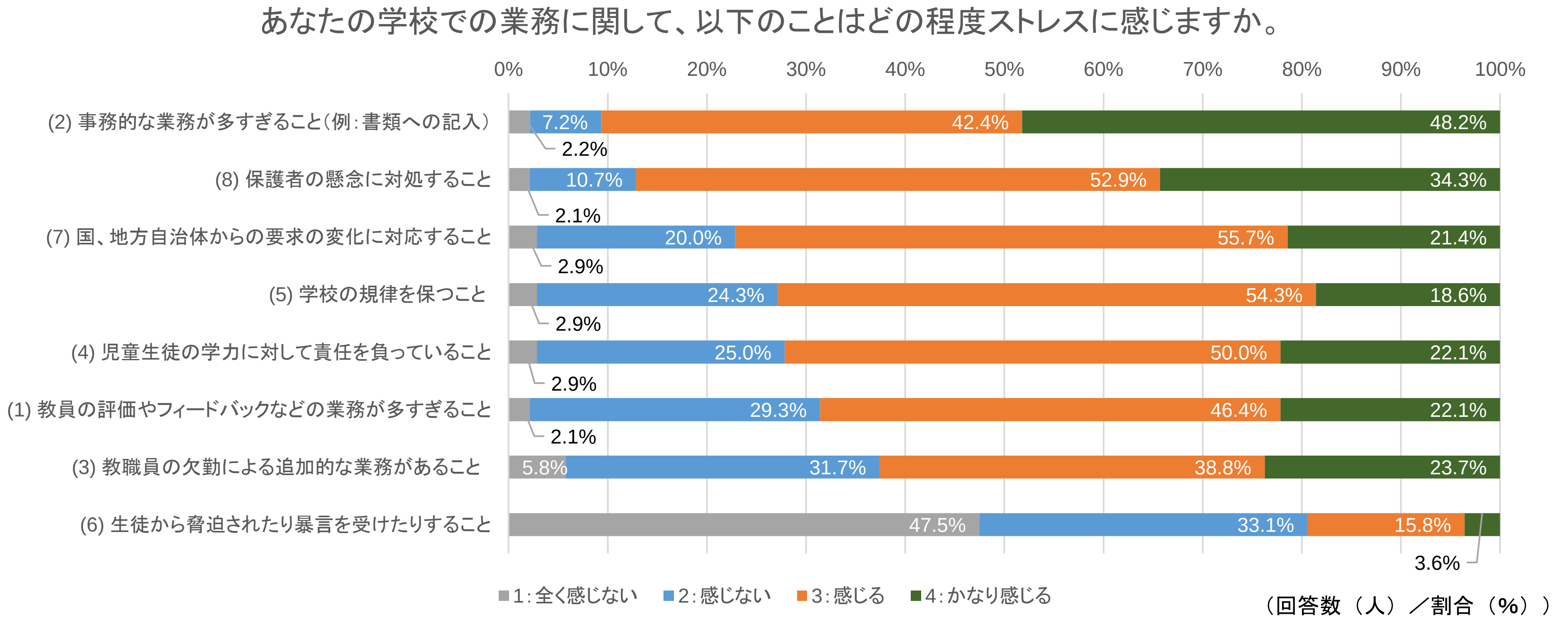
あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(16) 教員の時間的・精神的余白や余裕の不足	(18) 地理的条件や特定の業務に対して教員のインセンティブ（手当等）が不足している、あるいは適切ではない	(2) 特別な支援を要する児童生徒への指導能力を持つ教員の不足	(8) 支援職員の不足	(15) 教員が児童生徒と過ごす時間が不足している、あるいは適切でない	(10) 物理的な施設設備が不足している、あるいは適切でない（例：学校家具、校舎、空調機、照明器具）	(17) ミドルリーダー等学校組織の中核となりうる教員が配置されていない、あるいは年齢構成が適切ではない	(1) 資格を持つ教員の不足	(9) 指導のための場所が不足している、あるいは適切でない（例：教室）
4：非常に妨げになっている	61人 / 43.9%	38人 / 27.1%	33人 / 23.6%	35人 / 25.0%	23人 / 16.4%	26人 / 18.6%	25人 / 17.9%	27人 / 19.3%	19人 / 13.6%
3：かなり妨げになっている	45人 / 32.4%	47人 / 33.6%	46人 / 32.9%	42人 / 30.0%	51人 / 36.4%	45人 / 32.1%	37人 / 26.4%	26人 / 18.6%	32人 / 22.9%
2：いくらか妨げになっている	33人 / 23.7%	42人 / 30.0%	54人 / 38.6%	51人 / 36.4%	56人 / 40.0%	54人 / 38.6%	58人 / 41.4%	68人 / 48.6%	57人 / 40.7%
1：全く妨げになっていない	0人 / 0.0%	13人 / 9.3%	7人 / 5.0%	12人 / 8.6%	10人 / 7.1%	15人 / 10.7%	20人 / 14.3%	19人 / 13.6%	32人 / 22.9%
回答母数（n=）	139人	140人	140人	140人	140人	140人	140人	140人	140人

	(5) 指導のためのデジタル技術が不足している、あるいは適切でない（例：ソフトウェア、コンピュータ、タブレット、電子黒板）	(6) インターネット接続環境が不十分である	(12) 社会経済的に困難な家庭環境にある児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足	(14) 教育的リーダーシップを発揮する時間が不足している、あるいは適切でない	(4) 教材が不足している、あるいは適切でない	(3) 職業教育を行う教員の不足	(11) 多言語又は多文化の環境で、児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足	(13) 職業能力を訓練するために必要な教材が不足している、あるいは適切でない	(7) 図書館の教材が不足している、あるいは適切でない
4：非常に妨げになっている	18人 / 12.9%	20人 / 14.3%	14人 / 10.0%	7人 / 5.1%	8人 / 5.7%	13人 / 9.3%	10人 / 7.1%	1人 / 0.7%	2人 / 1.4%
3：かなり妨げになっている	30人 / 21.6%	25人 / 17.9%	31人 / 22.1%	37人 / 26.8%	25人 / 17.9%	18人 / 12.9%	19人 / 13.6%	16人 / 11.4%	10人 / 7.1%
2：いくらか妨げになっている	71人 / 51.1%	55人 / 39.3%	78人 / 55.7%	69人 / 50.0%	82人 / 58.6%	65人 / 46.4%	57人 / 40.7%	75人 / 53.6%	68人 / 48.6%
1：全く妨げになっていない	20人 / 14.4%	40人 / 28.6%	17人 / 12.1%	25人 / 18.1%	25人 / 17.9%	44人 / 31.4%	54人 / 38.6%	48人 / 34.3%	60人 / 42.9%
回答母数（n=）	139人	140人	140人	138人	140人	140人	140人	140人	140人

管理職：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

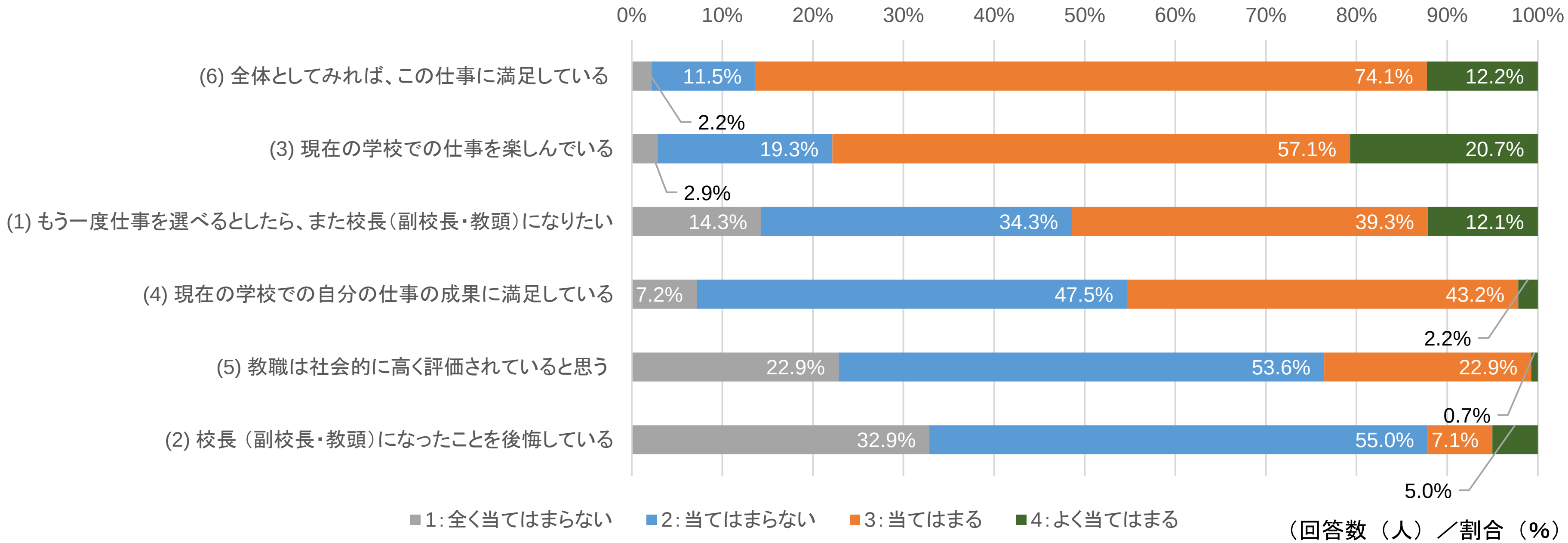


（回答数（人）／割合（%））

	(2) 事務的な業務が多すぎること（例：書類への記入）	(8) 保護者の懸念に対処すること	(7) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること	(5) 学校の規律を保つこと	(4) 児童生徒の学力に対して責任を負っていること	(1) 教員の評価やフィードバックなどの業務が多すぎること	(3) 教職員の欠勤による追加的な業務があること	(6) 生徒から脅迫されたり暴言を受けたりすること
4：かなり感じる	67人 / 48.2%	48人 / 34.3%	30人 / 21.4%	26人 / 18.6%	31人 / 22.1%	31人 / 22.1%	33人 / 23.7%	5人 / 3.6%
3：感じる	59人 / 42.4%	74人 / 52.9%	78人 / 55.7%	76人 / 54.3%	70人 / 50.0%	65人 / 46.4%	54人 / 38.8%	22人 / 15.8%
2：感じない	10人 / 7.2%	15人 / 10.7%	28人 / 20.0%	34人 / 24.3%	35人 / 25.0%	41人 / 29.3%	44人 / 31.7%	46人 / 33.1%
1：全く感じない	3人 / 2.2%	3人 / 2.1%	4人 / 2.9%	4人 / 2.9%	4人 / 2.9%	3人 / 2.1%	8人 / 5.8%	66人 / 47.5%
回答母数（n=）	139人	140人	140人	140人	140人	140人	139人	139人

管理職：小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校

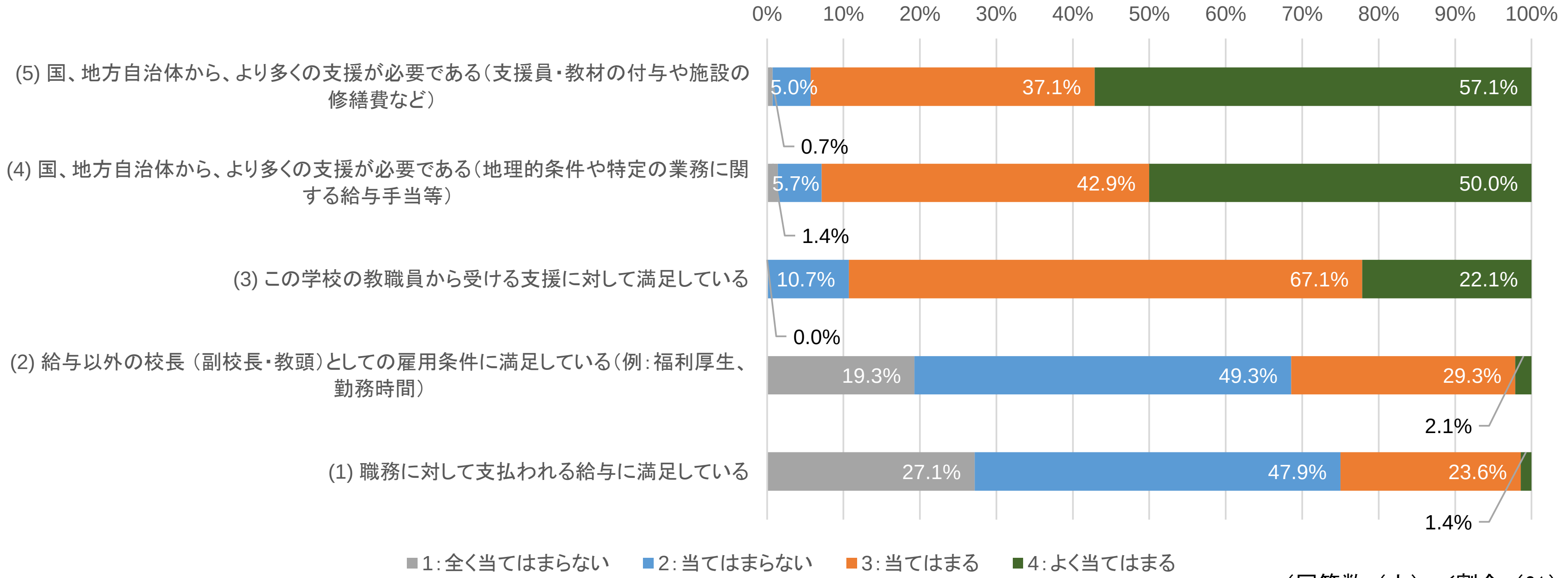
あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(6) 全体としてみれば、この仕事に満足している	(3) 現在の学校での仕事を楽しんでいる	(1) もう一度仕事を選べるとしたら、また校長（副校長・教頭）になりたい	(4) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している	(5) 教職は社会的に高く評価されていると思う	(2) 校長（副校長・教頭）になったことを後悔している
4：よく当てはまる	17人 / 12.2%	29人 / 20.7%	17人 / 12.1%	3人 / 2.2%	1人 / 0.7%	7人 / 5.0%
3：当てはまる	103人 / 74.1%	80人 / 57.1%	55人 / 39.3%	60人 / 43.2%	32人 / 22.9%	10人 / 7.1%
2：当てはまらない	16人 / 11.5%	27人 / 19.3%	48人 / 34.3%	66人 / 47.5%	75人 / 53.6%	77人 / 55.0%
1：全く当てはまらない	3人 / 2.2%	4人 / 2.9%	20人 / 14.3%	10人 / 7.2%	32人 / 22.9%	46人 / 32.9%
回答母数（n=）	139人	140人	140人	139人	140人	140人

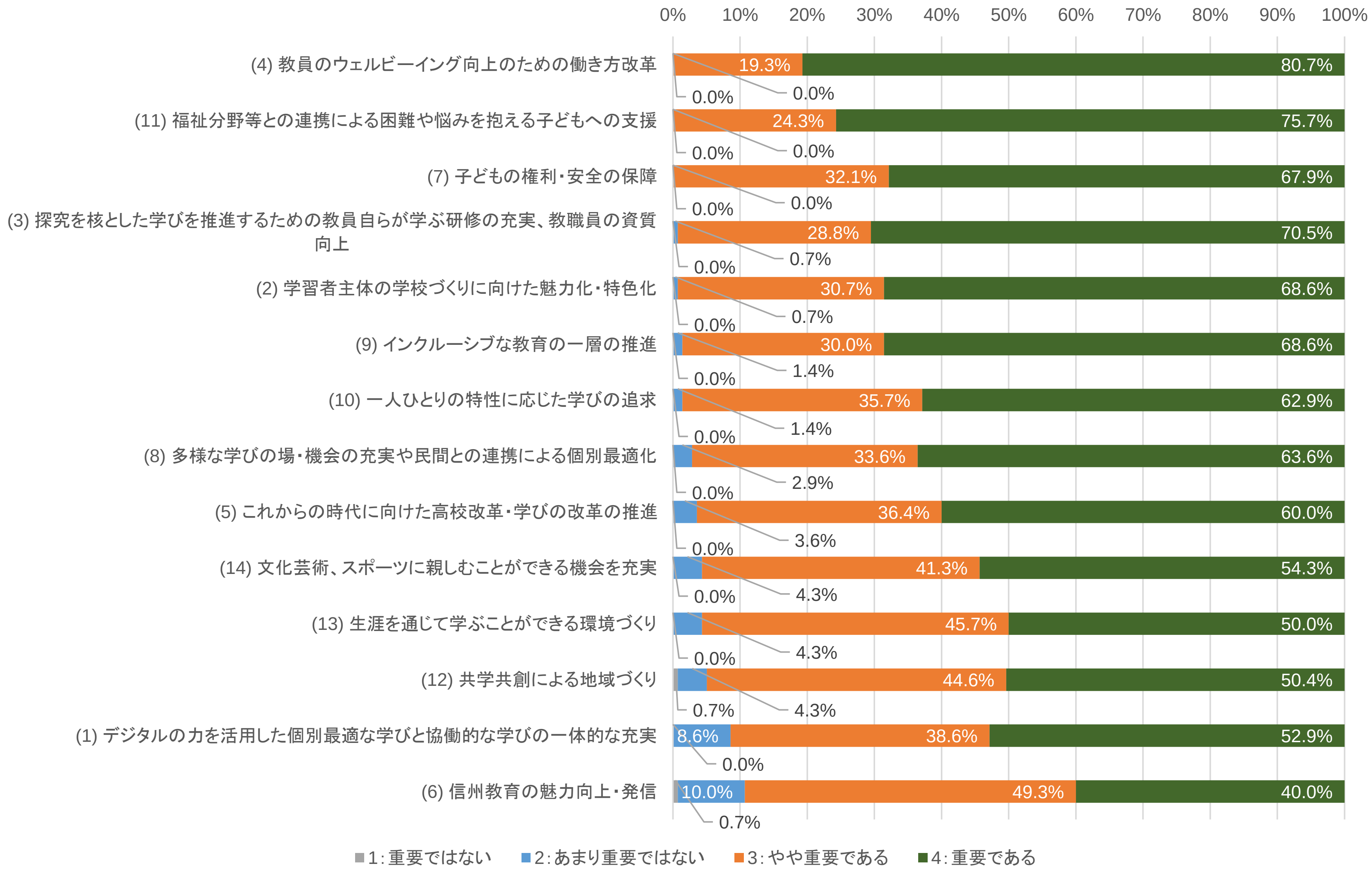
以下のことはどの程度当てはまりますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(5) 国、地方自治体から、より多くの支援が必要である（支援員・教材の付与や施設の修繕費など）	(4) 国、地方自治体から、より多くの支援が必要である（地理的条件や特定の業務に関する給与手当等）	(3) この学校の教職員から受ける支援に対して満足している	(2) 給与以外の校長（副校長・教頭）としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間）	(1) 職務に対して支払われる給与に満足している
4：よく当てはまる	80人 / 57.1%	70人 / 50.0%	31人 / 22.1%	3人 / 2.1%	2人 / 1.4%
3：当てはまる	52人 / 37.1%	60人 / 42.9%	94人 / 67.1%	41人 / 29.3%	33人 / 23.6%
2：当てはまらない	7人 / 5.0%	8人 / 5.7%	15人 / 10.7%	69人 / 49.3%	67人 / 47.9%
1：全く当てはまらない	1人 / 0.7%	2人 / 1.4%	0人 / 0.0%	27人 / 19.3%	38人 / 27.1%
回答母数（n=）	140人	140人	140人	140人	140人

第４次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること



第４次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

（回答数（人）／割合（%））

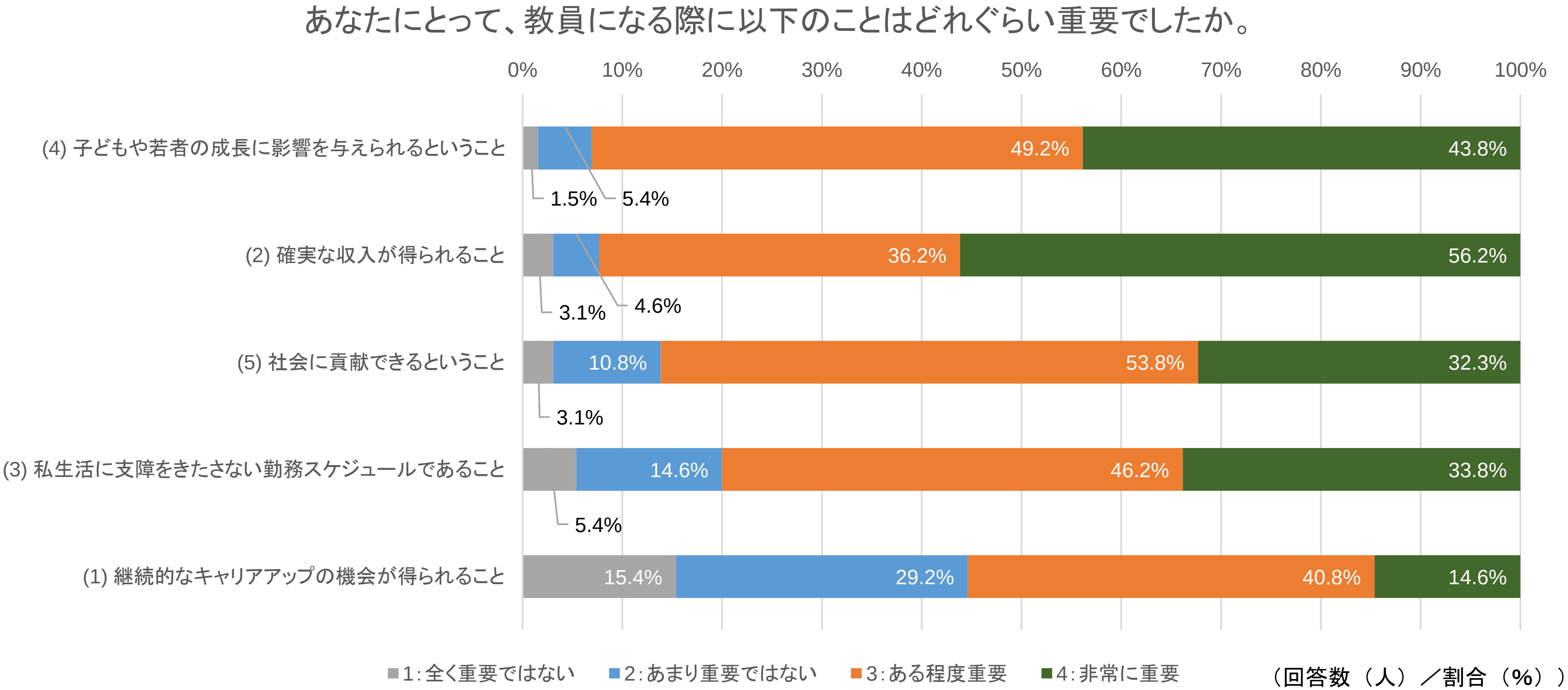
	(4) 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革	(11) 福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援	(7) 子どもの権利・安全の保障	(3) 探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上	(2) 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化	(9) インクルーシブな教育の一層の推進	(10) 一人ひとりの特性に応じた学びの追求
4：重要である	113人 / 80.7%	106人 / 75.7%	95人 / 67.9%	98人 / 70.5%	96人 / 68.6%	96人 / 68.6%	88人 / 62.9%
3：やや重要である	27人 / 19.3%	34人 / 24.3%	45人 / 32.1%	40人 / 28.8%	43人 / 30.7%	42人 / 30.0%	50人 / 35.7%
2：あまり重要ではない	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	2人 / 1.4%	2人 / 1.4%
1：重要ではない	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%
回答母数（n=）	140人	140人	140人	139人	140人	140人	140人

	(8) 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化	(5) これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進	(14) 文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実	(13) 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり	(12) 共学共創による地域づくり	(1) デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	(6) 信州教育の魅力向上・発信
4：重要である	89人 / 63.6%	84人 / 60.0%	75人 / 54.3%	69人 / 50.0%	70人 / 50.4%	74人 / 52.9%	56人 / 40.0%
3：やや重要である	47人 / 33.6%	51人 / 36.4%	57人 / 41.3%	63人 / 45.7%	62人 / 44.6%	54人 / 38.6%	69人 / 49.3%
2：あまり重要ではない	4人 / 2.9%	5人 / 3.6%	6人 / 4.3%	6人 / 4.3%	6人 / 4.3%	12人 / 8.6%	14人 / 10.0%
1：重要ではない	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%
回答母数（n=）	140人	140人	138人	138人	139人	140人	140人

教員

（高等学校）

教員：高等学校



（回答数（人）／割合（%））

	(4) 子どもや若者の成長に影響を与えられるということ	(2) 確実な収入が得られること	(5) 社会に貢献できるということ	(3) 私生活に支障をきたさない勤務スケジュールであること	(1) 継続的なキャリアアップの機会が得られること
4：非常に重要	57人 / 43.8%	73人 / 56.2%	42人 / 32.3%	44人 / 33.8%	19人 / 14.6%
3：ある程度重要	64人 / 49.2%	47人 / 36.2%	70人 / 53.8%	60人 / 46.2%	53人 / 40.8%
2：あまり重要ではない	7人 / 5.4%	6人 / 4.6%	14人 / 10.8%	19人 / 14.6%	38人 / 29.2%
1：全く重要ではない	2人 / 1.5%	4人 / 3.1%	4人 / 3.1%	7人 / 5.4%	20人 / 15.4%
回答母数（n=）	130人	130人	130人	130人	130人

直近の「通常の一週間」において、あなたに求められている仕事に、合計でおよそ何時間（１時間＝60分換算）従事しましたか。

（単位：時間）

勤務学校種	勤続年数	平均時間
高等学校	５年未満	52.56
	５年以上～10年未満	53.45
	10年以上～20年未満	50.22
	20年以上～30年未満	47.56
	30年以上～40年未満	53.26
	40年以上	36.92
	全体平均	50.27

この合計のうち、直近の「通常の一週間」において、およそ何時間（1時間⇒45分、50分等の授業時間）授業をしましたか。

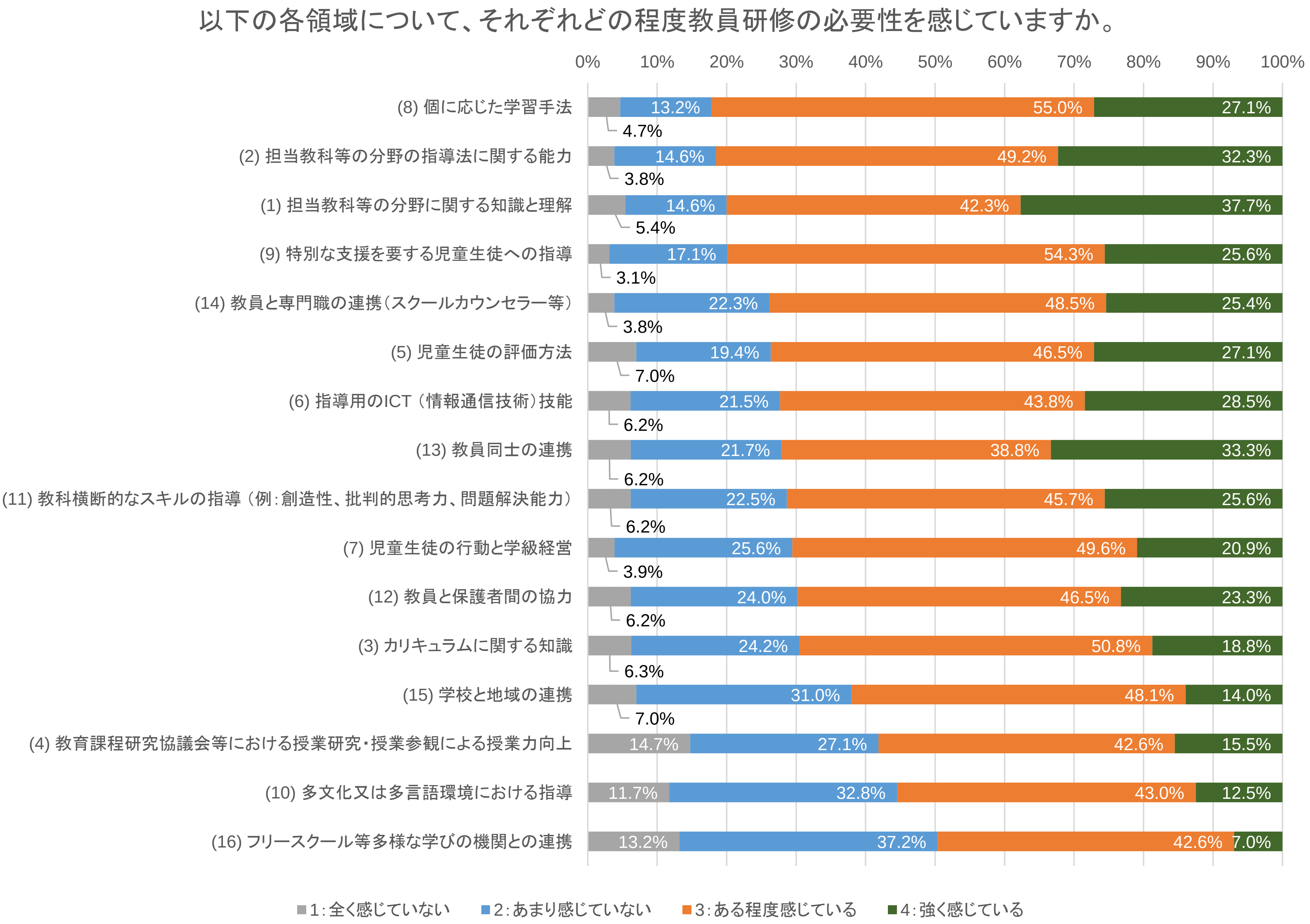
（単位：時間）

勤務学校種	平均時間
高等学校	15.43

直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。

（単位：時間）

勤務学校種	「(1)学校内外で個人で行う授業の計画や準備」の平均	「(2)学校内での同僚との共同作業や話し合い」の平均	「(3)児童生徒の課題の採点や添削」の平均	「(4)児童生徒に対する教育相談（例：監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導）」の平均	「(5)学校運営業務への参画」の平均	「(6)一般的な事務業務（教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務を含む）」の平均	「(7)教員研修」の平均	「(8)保護者との連絡や連携」の平均	「(9)課外活動の指導（例：放課後の部活動など）」の平均	「(10)その他の業務」の平均
高等学校	10.79	3.70	3.25	1.41	3.96	6.05	0.52	0.72	7.98	1.54


以下の各領域について、それぞれどの程度教員研修の必要性を感じていますか。
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
(8) 個に応じた学習手法 4.7% 13.2% 55.0% 27.1%
(2) 担当教科等の分野の指導法に関する能力 3.8% 14.6% 49.2% 32.3%
(1) 担当教科等の分野に関する知識と理解 5.4% 14.6% 42.3% 37.7%
(9) 特別な支援を要する児童生徒への指導 3.1% 17.1% 54.3% 25.6%
(14) 教員と専門職の連携（スクールカウンセラー等） 3.8% 22.3% 48.5% 25.4%
(5) 児童生徒の評価方法 7.0% 19.4% 46.5% 27.1%
(6) 指導用のICT（情報通信技術）技能 6.2% 21.5% 43.8% 28.5%
(13) 教員同士の連携 6.2% 21.7% 38.8% 33.3%
(11) 教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力） 6.2% 22.5% 45.7% 25.6%
(7) 児童生徒の行動と学級経営 3.9% 25.6% 49.6% 20.9%
(12) 教員と保護者間の協力 6.2% 24.0% 46.5% 23.3%
(3) カリキュラムに関する知識 6.3% 24.2% 50.8% 18.8%
(15) 学校と地域の連携 7.0% 31.0% 48.1% 14.0%
(4) 教育課程研究協議会等における授業研究・授業参観による授業力向上 14.7% 27.1% 42.6% 15.5%
(10) 多文化又は多言語環境における指導 11.7% 32.8% 43.0% 12.5%
(16) フリースクール等多様な学びの機関との連携 13.2% 37.2% 42.6% 7.0%
1：全く感じていない
2：あまり感じていない
3：ある程度感じている
4：強く感じている

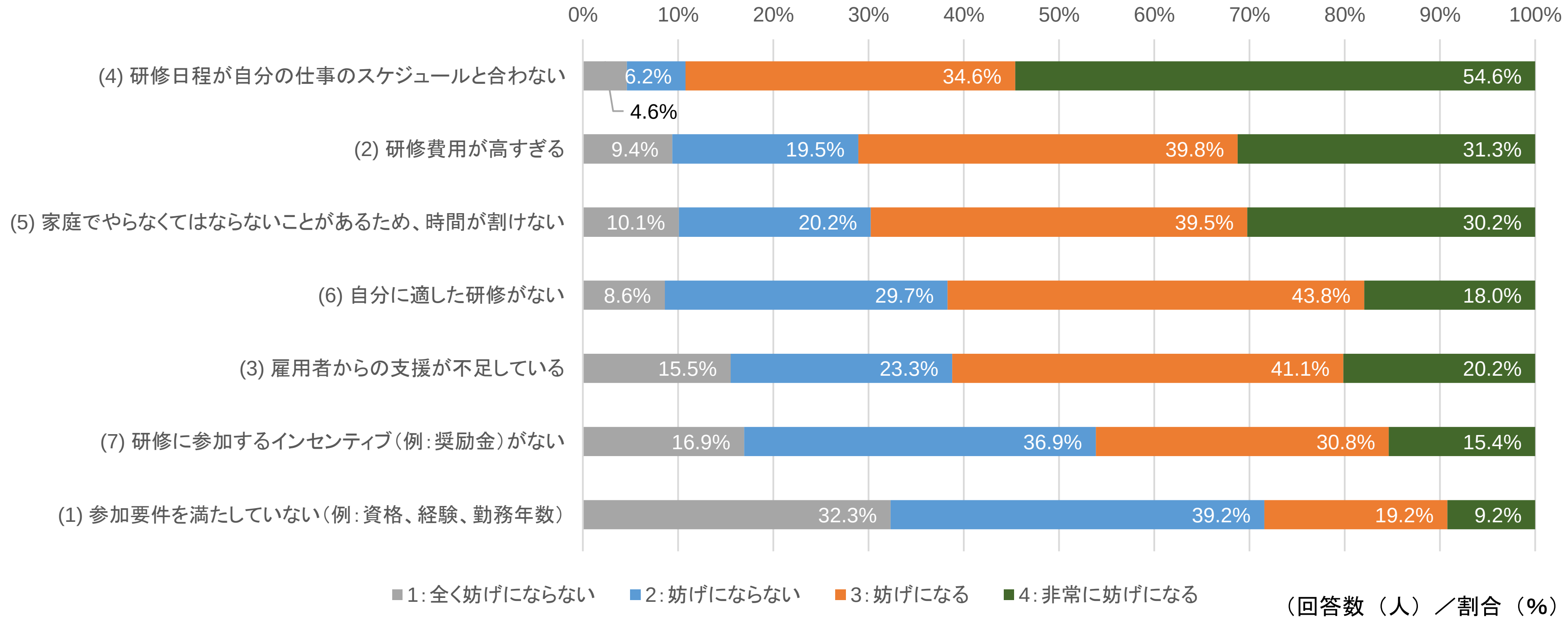
以下の各領域について、それぞれどの程度教員研修の必要性を感じていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(8) 個に応じた学習手法	(2) 担当教科等の分野の指導法に関する能力	(1) 担当教科等の分野に関する知識と理解	(9) 特別な支援を要する児童生徒への指導	(14) 教員と専門職の連携（スクールカウンセラー等）	(5) 児童生徒の評価方法	(6) 指導用のICT （情報通信技術）技能	(13) 教員同士の連携
4：強く感じている	35人 / 27.1%	42人 / 32.3%	49人 / 37.7%	33人 / 25.6%	33人 / 25.4%	35人 / 27.1%	37人 / 28.5%	43人 / 33.3%
3：ある程度感じている	71人 / 55.0%	64人 / 49.2%	55人 / 42.3%	70人 / 54.3%	63人 / 48.5%	60人 / 46.5%	57人 / 43.8%	50人 / 38.8%
2：あまり感じていない	17人 / 13.2%	19人 / 14.6%	19人 / 14.6%	22人 / 17.1%	29人 / 22.3%	25人 / 19.4%	28人 / 21.5%	28人 / 21.7%
1：全く感じていない	6人 / 4.7%	5人 / 3.8%	7人 / 5.4%	4人 / 3.1%	5人 / 3.8%	9人 / 7.0%	8人 / 6.2%	8人 / 6.2%
回答母数（n=）	129人	130人	130人	129人	130人	129人	130人	129人

	(11) 教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力）	(7) 児童生徒の行動と学級経営	(12) 教員と保護者間の協力	(3) カリキュラムに関する知識	(15) 学校と地域の連携	(4) 教育課程研究協議会等における授業研究・授業参観による授業力向上	(10) 多文化又は多言語環境における指導	(16) フリースクール等多様な学びの機関との連携
4：強く感じている	33人 / 25.6%	27人 / 20.9%	30人 / 23.3%	24人 / 18.8%	18人 / 14.0%	20人 / 15.5%	16人 / 12.5%	9人 / 7.0%
3：ある程度感じている	59人 / 45.7%	64人 / 49.6%	60人 / 46.5%	65人 / 50.8%	62人 / 48.1%	55人 / 42.6%	55人 / 43.0%	55人 / 42.6%
2：あまり感じていない	29人 / 22.5%	33人 / 25.6%	31人 / 24.0%	31人 / 24.2%	40人 / 31.0%	35人 / 27.1%	42人 / 32.8%	48人 / 37.2%
1：全く感じていない	8人 / 6.2%	5人 / 3.9%	8人 / 6.2%	8人 / 6.3%	9人 / 7.0%	19人 / 14.7%	15人 / 11.7%	17人 / 13.2%
回答母数（n=）	129人	129人	129人	128人	129人	129人	128人	129人

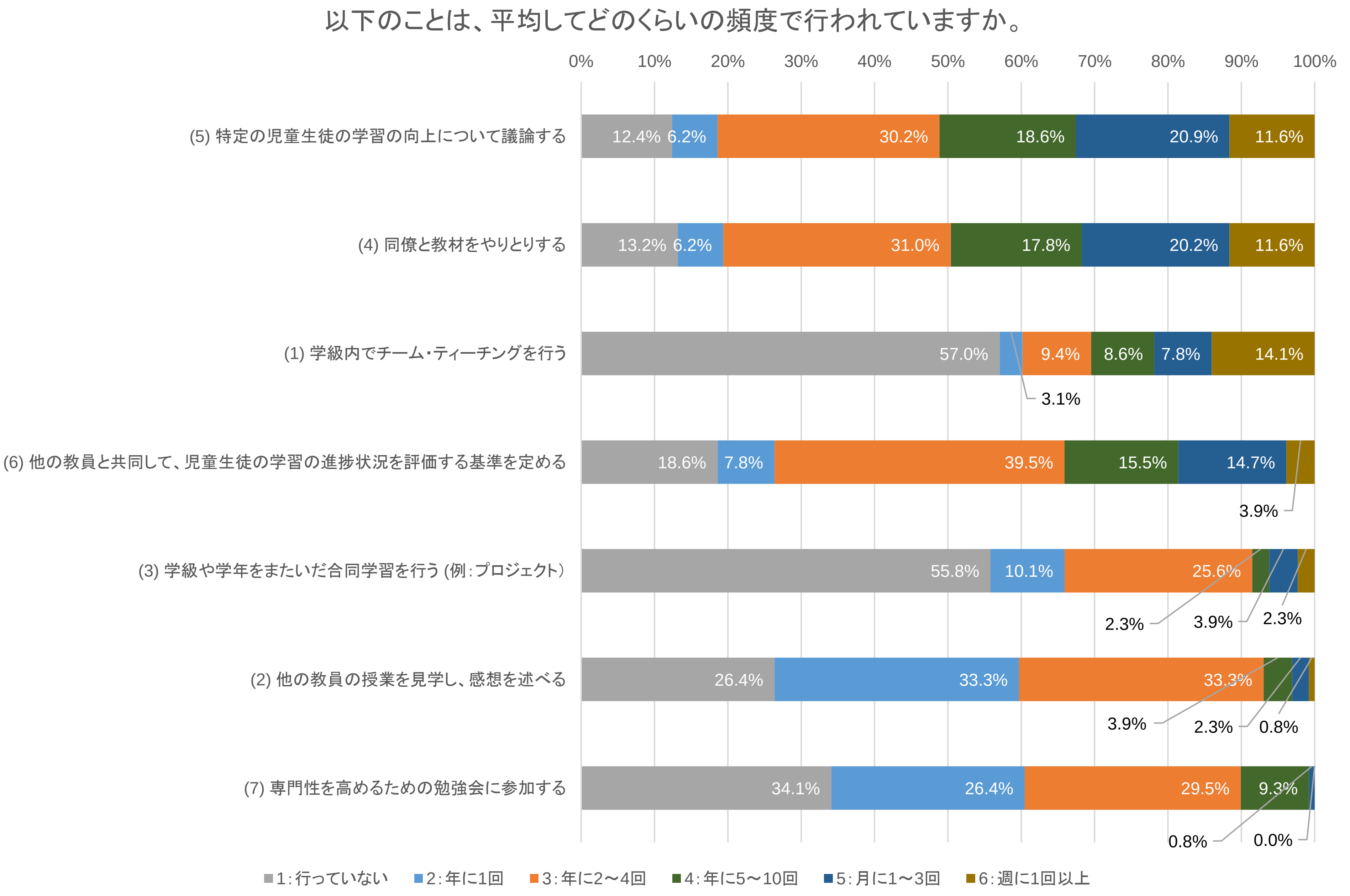
教員研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると思いますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(4) 研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない	(2) 研修費用が高すぎる	(5) 家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない	(6) 自分に適した研修がない	(3) 雇用者からの支援が不足している	(7) 研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない	(1) 参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数）
4：非常に妨げになる	71人 / 54.6%	40人 / 31.3%	39人 / 30.2%	23人 / 18.0%	26人 / 20.2%	20人 / 15.4%	12人 / 9.2%
3：妨げになる	45人 / 34.6%	51人 / 39.8%	51人 / 39.5%	56人 / 43.8%	53人 / 41.1%	40人 / 30.8%	25人 / 19.2%
2：妨げにならない	8人 / 6.2%	25人 / 19.5%	26人 / 20.2%	38人 / 29.7%	30人 / 23.3%	48人 / 36.9%	51人 / 39.2%
1：全く妨げにならない	6人 / 4.6%	12人 / 9.4%	13人 / 10.1%	11人 / 8.6%	20人 / 15.5%	22人 / 16.9%	42人 / 32.3%
回答母数（n=）	130人	128人	129人	128人	129人	130人	130人

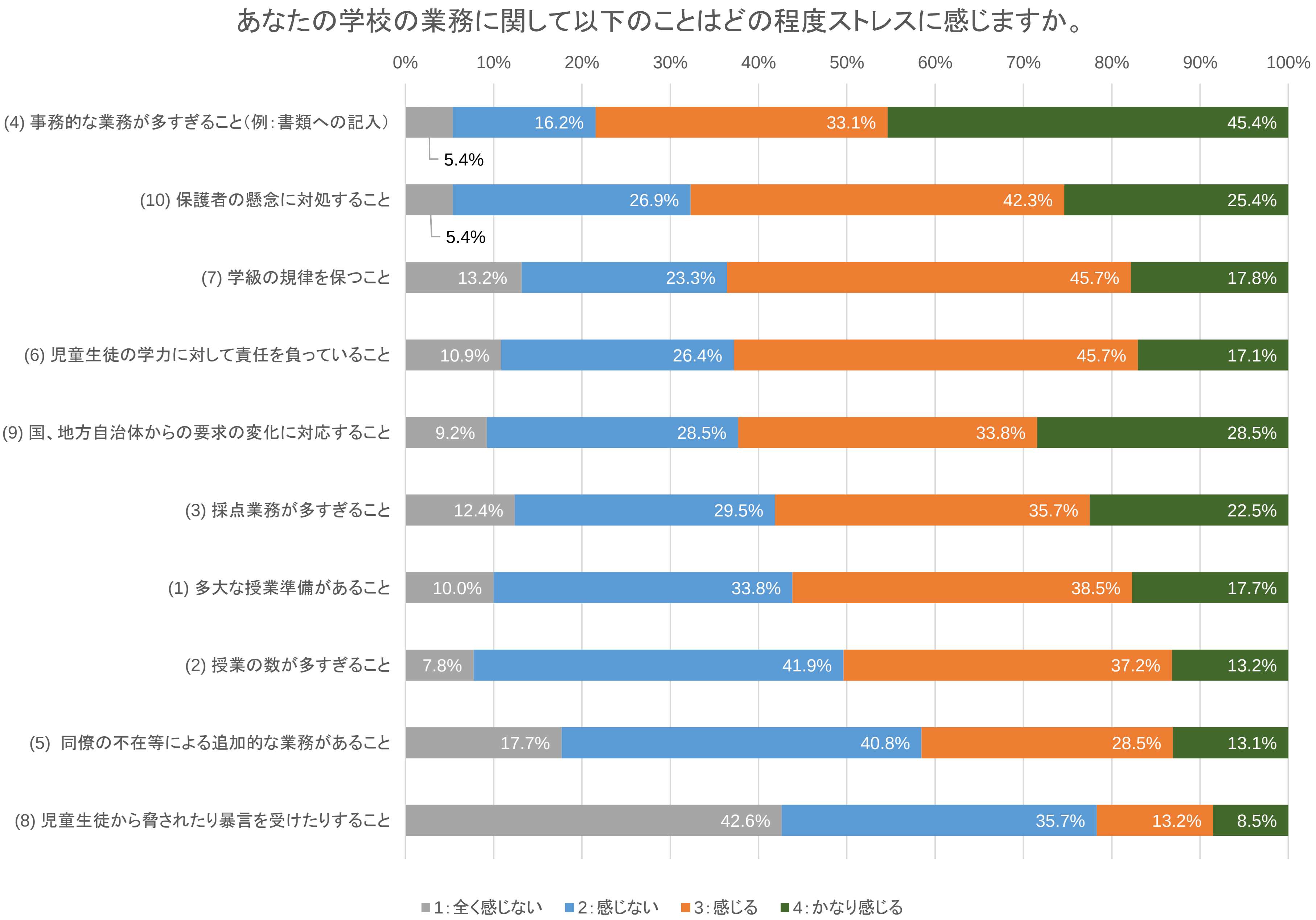
教員：高等学校


以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
(5) 特定の児童生徒の学習の向上について議論する
12.4%
6.2%
30.2%
18.6%
20.9%
11.6%
(4) 同僚と教材をやりとりする
13.2%
6.2%
31.0%
17.8%
20.2%
11.6%
(1) 学級内でチーム・ティーチングを行う
57.0%
3.1%
9.4%
8.6%
7.8%
14.1%
(6) 他の教員と共同して、児童生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める
18.6%
7.8%
39.5%
15.5%
14.7%
3.9%
(3) 学級や学年をまたいだ合同学習を行う (例：プロジェクト)
55.8%
10.1%
25.6%
2.3%
3.9%
2.3%
(2) 他の教員の授業を見学し、感想を述べる
26.4%
33.3%
33.3%
3.9%
2.3%
0.8%
(7) 専門性を高めるための勉強会に参加する
34.1%
26.4%
29.5%
9.3%
0.8%
0.0%
1：行っていない
2：年に1回
3：年に2～4回
4：年に5～10回
5：月に1～3回
6：週に1回以上

以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(5) 特定の児童生徒の学習の向上について議論する	(4) 同僚と教材をやりとりする	(1) 学級内でチーム・ティーチングを行う	(6) 他の教員と共同して、児童生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める	(3) 学級や学年をまたいだ合同学習を行う (例：プロジェクト)	(2) 他の教員の授業を見学し、感想を述べる	(7) 専門性を高めるための勉強会に参加する
6：週に1回以上	15人 / 11.6%	15人 / 11.6%	18人 / 14.1%	5人 / 3.9%	3人 / 2.3%	1人 / 0.8%	0人 / 0.0%
5：月に1～3回	27人 / 20.9%	26人 / 20.2%	10人 / 7.8%	19人 / 14.7%	5人 / 3.9%	3人 / 2.3%	1人 / 0.8%
4：年に5～10回	24人 / 18.6%	23人 / 17.8%	11人 / 8.6%	20人 / 15.5%	3人 / 2.3%	5人 / 3.9%	12人 / 9.3%
3：年に2～4回	39人 / 30.2%	40人 / 31.0%	12人 / 9.4%	51人 / 39.5%	33人 / 25.6%	43人 / 33.3%	38人 / 29.5%
2：年に1回	8人 / 6.2%	8人 / 6.2%	4人 / 3.1%	10人 / 7.8%	13人 / 10.1%	43人 / 33.3%	34人 / 26.4%
1：行っていない	16人 / 12.4%	17人 / 13.2%	73人 / 57.0%	24人 / 18.6%	72人 / 55.8%	34人 / 26.4%	44人 / 34.1%
回答母数（n=）	129人	129人	128人	129人	129人	129人	129人

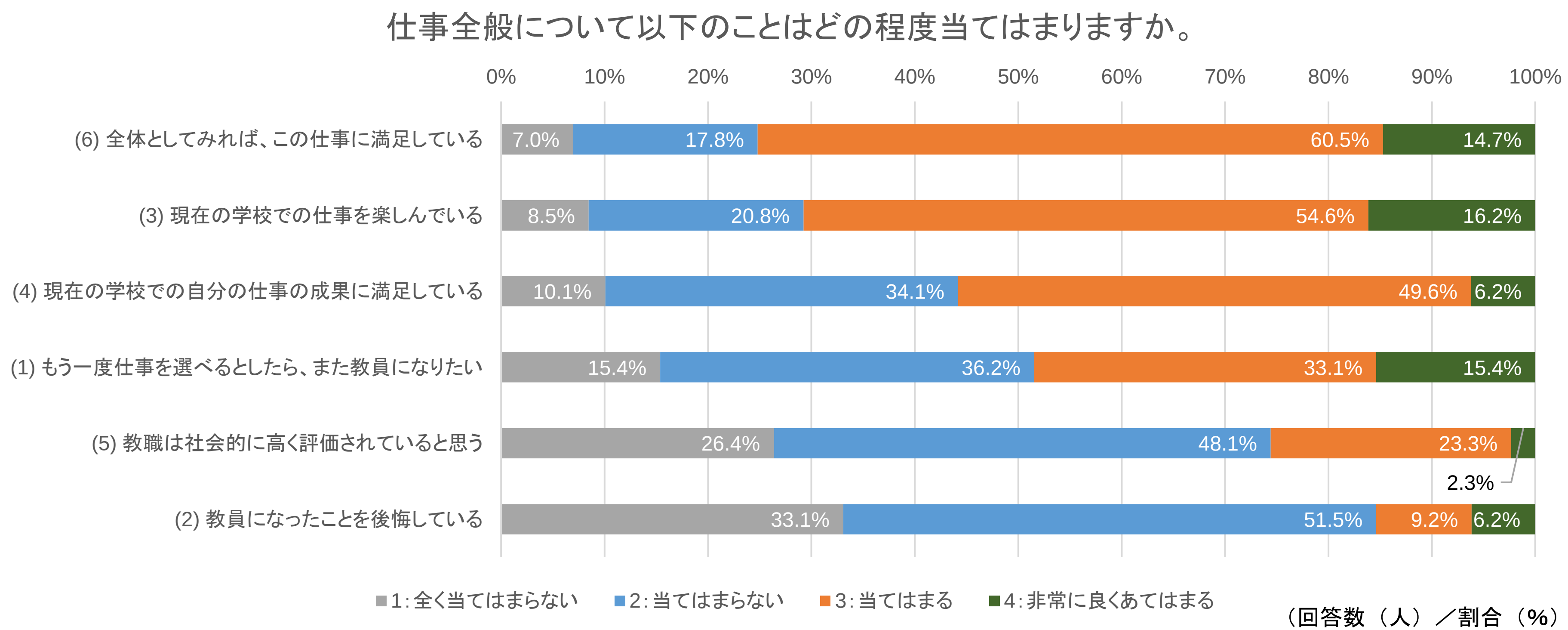

あなたの学校の業務に関して以下のことはどの程度ストレスに感じますか。
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
(4) 事務的な業務が多すぎること（例：書類への記入）
5.4%
16.2%
33.1%
45.4%
(10) 保護者の懸念に対処すること
5.4%
26.9%
42.3%
25.4%
(7) 学級の規律を保つこと
13.2%
23.3%
45.7%
17.8%
(6) 児童生徒の学力に対して責任を負っていること
10.9%
26.4%
45.7%
17.1%
(9) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること
9.2%
28.5%
33.8%
28.5%
(3) 採点業務が多すぎること
12.4%
29.5%
35.7%
22.5%
(1) 多大な授業準備があること
10.0%
33.8%
38.5%
17.7%
(2) 授業の数が多すぎること
7.8%
41.9%
37.2%
13.2%
(5) 同僚の不在等による追加的な業務があること
17.7%
40.8%
28.5%
13.1%
(8) 児童生徒から脅されたり暴言を受けたりすること
42.6%
35.7%
13.2%
8.5%
1：全く感じない
2：感じない
3：感じる
4：かなり感じる

あなたの学校の業務に関して以下のことはどの程度ストレスに感じますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(4) 事務的な業務が多すぎること（例：書類への記入）	(10) 保護者の懸念に対処すること	(7) 学級の規律を保つこと	(6) 児童生徒の学力に対して責任を負っていること	(9) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること
4：かなり感じる	59人 / 45.4%	33人 / 25.4%	23人 / 17.8%	22人 / 17.1%	37人 / 28.5%
3：感じる	43人 / 33.1%	55人 / 42.3%	59人 / 45.7%	59人 / 45.7%	44人 / 33.8%
2：感じない	21人 / 16.2%	35人 / 26.9%	30人 / 23.3%	34人 / 26.4%	37人 / 28.5%
1：全く感じない	7人 / 5.4%	7人 / 5.4%	17人 / 13.2%	14人 / 10.9%	12人 / 9.2%
回答母数（n=）	130人	130人	129人	129人	130人

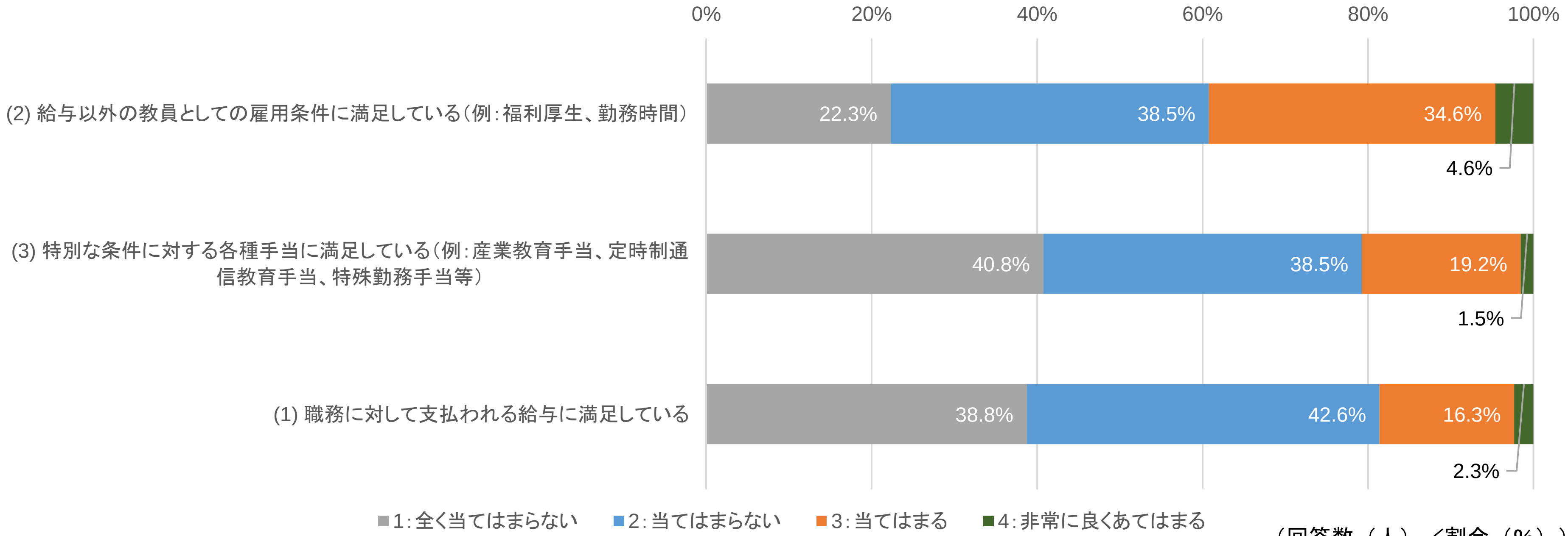
	(3) 採点業務が多すぎること	(1) 多大な授業準備があること	(2) 授業の数が多すぎること	(5) 同僚の不在等による追加的な業務があること	(8) 児童生徒から脅されたり暴言を受けたりすること
4：かなり感じる	29人 / 22.5%	23人 / 17.7%	17人 / 13.2%	17人 / 13.1%	11人 / 8.5%
3：感じる	46人 / 35.7%	50人 / 38.5%	48人 / 37.2%	37人 / 28.5%	17人 / 13.2%
2：感じない	38人 / 29.5%	44人 / 33.8%	54人 / 41.9%	53人 / 40.8%	46人 / 35.7%
1：全く感じない	16人 / 12.4%	13人 / 10.0%	10人 / 7.8%	23人 / 17.7%	55人 / 42.6%
回答母数（n=）	129人	130人	129人	130人	129人



（回答数（人）／割合（%））

	(6) 全体としてみれば、この仕事に満足している	(3) 現在の学校での仕事を楽しんでいる	(4) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している	(1) もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい	(5) 教職は社会的に高く評価されていると思う	(2) 教員になったことを後悔している
4：非常に良くあてはまる	19人 / 14.7%	21人 / 16.2%	8人 / 6.2%	20人 / 15.4%	3人 / 2.3%	8人 / 6.2%
3：当てはまる	78人 / 60.5%	71人 / 54.6%	64人 / 49.6%	43人 / 33.1%	30人 / 23.3%	12人 / 9.2%
2：当てはまらない	23人 / 17.8%	27人 / 20.8%	44人 / 34.1%	47人 / 36.2%	62人 / 48.1%	67人 / 51.5%
1：全く当てはまらない	9人 / 7.0%	11人 / 8.5%	13人 / 10.1%	20人 / 15.4%	34人 / 26.4%	43人 / 33.1%
回答母数（n=）	129人	130人	129人	130人	129人	130人

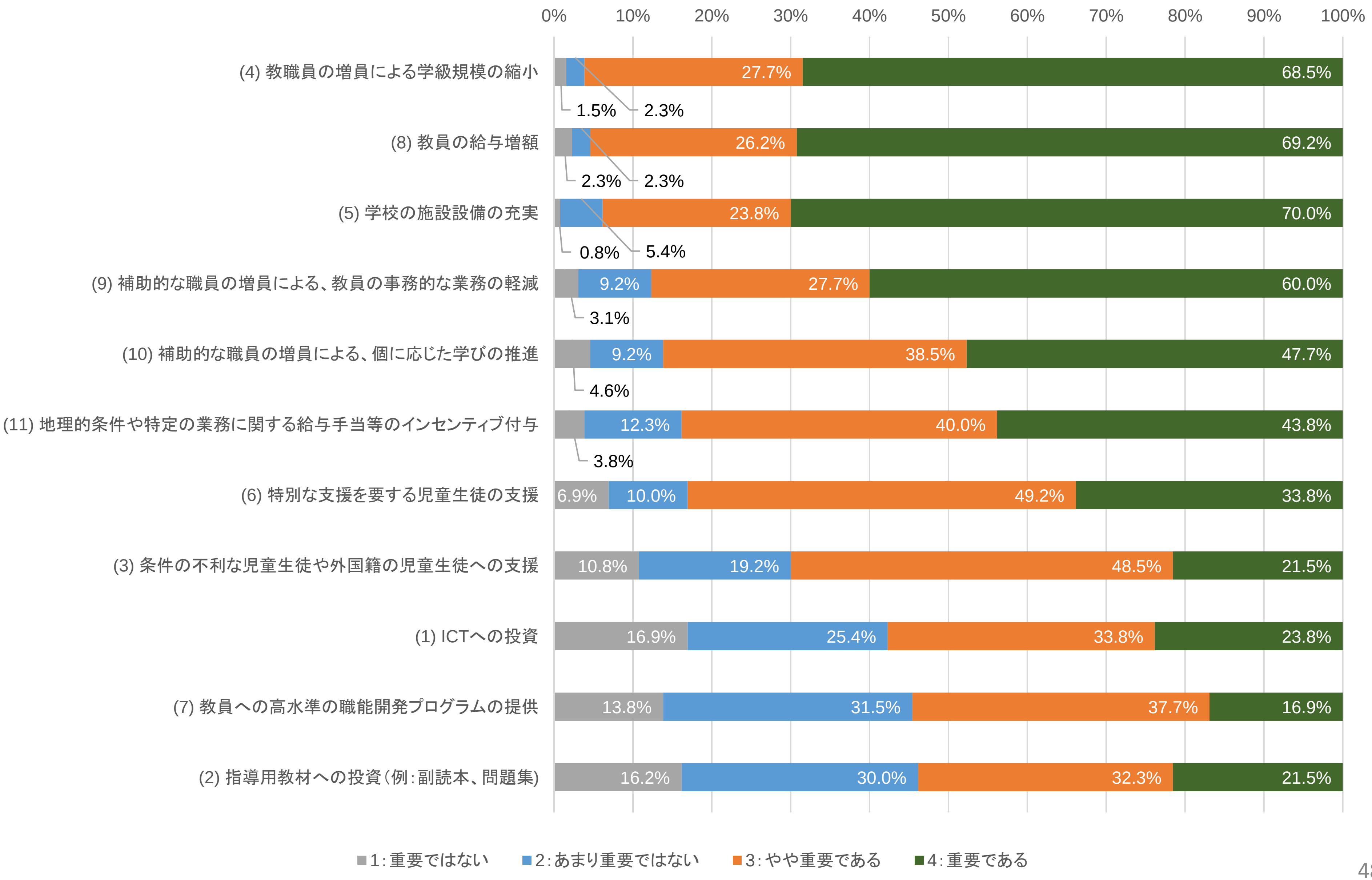
以下のことはどの程度当てはまりますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(2) 給与以外の教員としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間）	(3) 特別な条件に対する各種手当に満足している（例：産業教育手当、定時制通信教育手当、特殊勤務手当等）	(1) 職務に対して支払われる給与に満足している
4：非常に良くあてはまる	6人 / 4.6%	2人 / 1.5%	3人 / 2.3%
3：当てはまる	45人 / 34.6%	25人 / 19.2%	21人 / 16.3%
2：当てはまらない	50人 / 38.5%	50人 / 38.5%	55人 / 42.6%
1：全く当てはまらない	29人 / 22.3%	53人 / 40.8%	50人 / 38.8%
回答母数（n=）	130人	130人	129人

学校教育全体のことについてお尋ねします。
もし予算が5%増加するとしたら、以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。



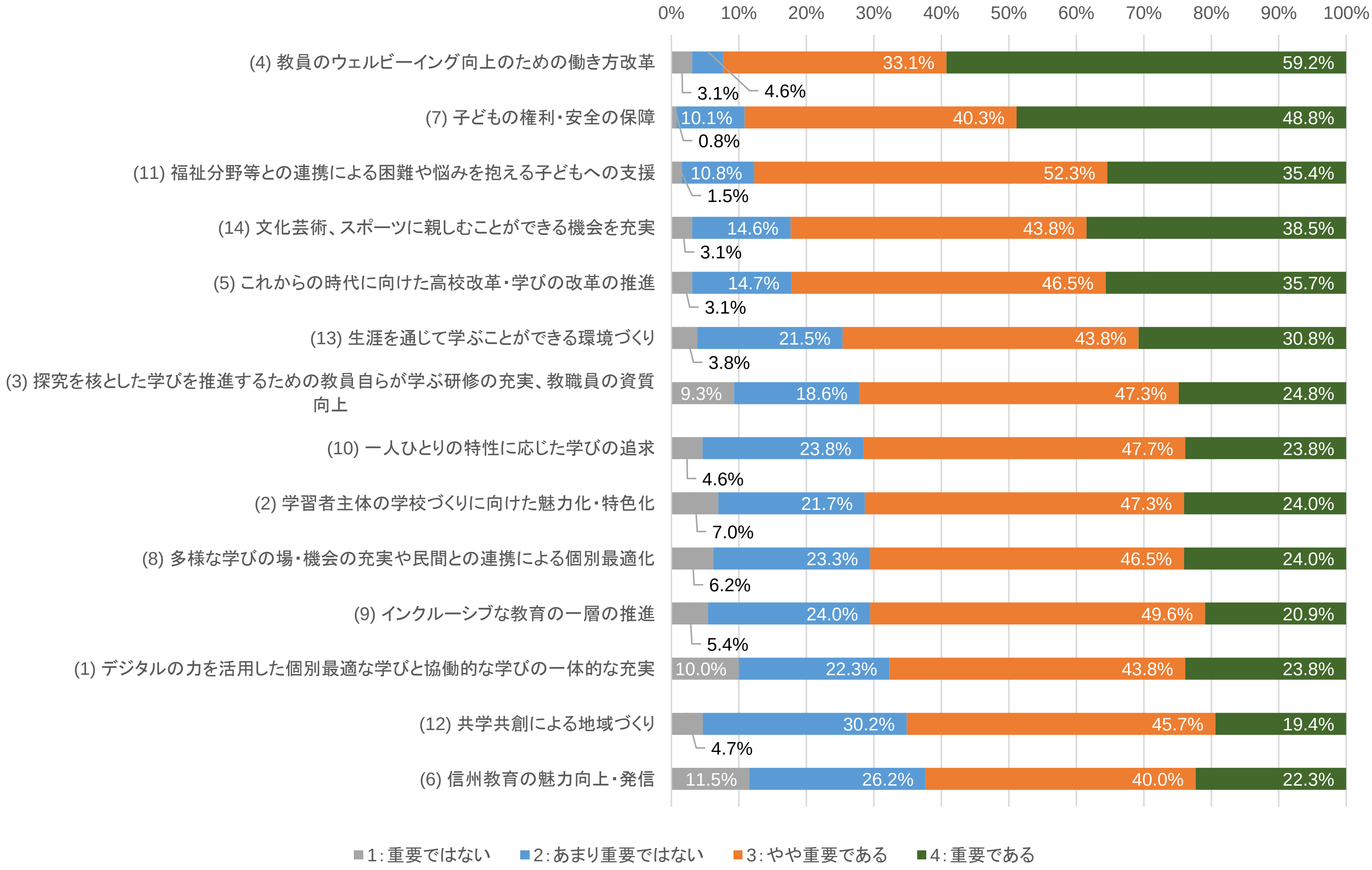
学校教育全体のことについてお尋ねします。
もし予算が５%増加するとしたら、以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(4) 教職員の増員による学級規模の縮小	(8) 教員の給与増額	(5) 学校の施設設備の充実	(9) 補助的な職員の増員による、教員の事務的な業務の軽減	(10) 補助的な職員の増員による、個に応じた学びの推進
4：重要である	89人 / 68.5%	90人 / 69.2%	91人 / 70.0%	78人 / 60.0%	62人 / 47.7%
3：やや重要である	36人 / 27.7%	34人 / 26.2%	31人 / 23.8%	36人 / 27.7%	50人 / 38.5%
2：あまり重要ではない	3人 / 2.3%	3人 / 2.3%	7人 / 5.4%	12人 / 9.2%	12人 / 9.2%
1：重要ではない	2人 / 1.5%	3人 / 2.3%	1人 / 0.8%	4人 / 3.1%	6人 / 4.6%
回答母数（n=）	130人	130人	130人	130人	130人

	(11) 地理的条件や特定の業務に関する給与手当等のインセンティブ付与	(6) 特別な支援を要する児童生徒の支援	(3) 条件の不利な児童生徒や外国籍の児童生徒への支援	(1) ICTへの投資	(7) 教員への高水準の職能開発プログラムの提供	(2) 指導用教材への投資（例：副読本、問題集)
4：重要である	57人 / 43.8%	44人 / 33.8%	28人 / 21.5%	31人 / 23.8%	22人 / 16.9%	28人 / 21.5%
3：やや重要である	52人 / 40.0%	64人 / 49.2%	63人 / 48.5%	44人 / 33.8%	49人 / 37.7%	42人 / 32.3%
2：あまり重要ではない	16人 / 12.3%	13人 / 10.0%	25人 / 19.2%	33人 / 25.4%	41人 / 31.5%	39人 / 30.0%
1：重要ではない	5人 / 3.8%	9人 / 6.9%	14人 / 10.8%	22人 / 16.9%	18人 / 13.8%	21人 / 16.2%
回答母数（n=）	130人	130人	130人	130人	130人	130人

第4次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること



第４次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

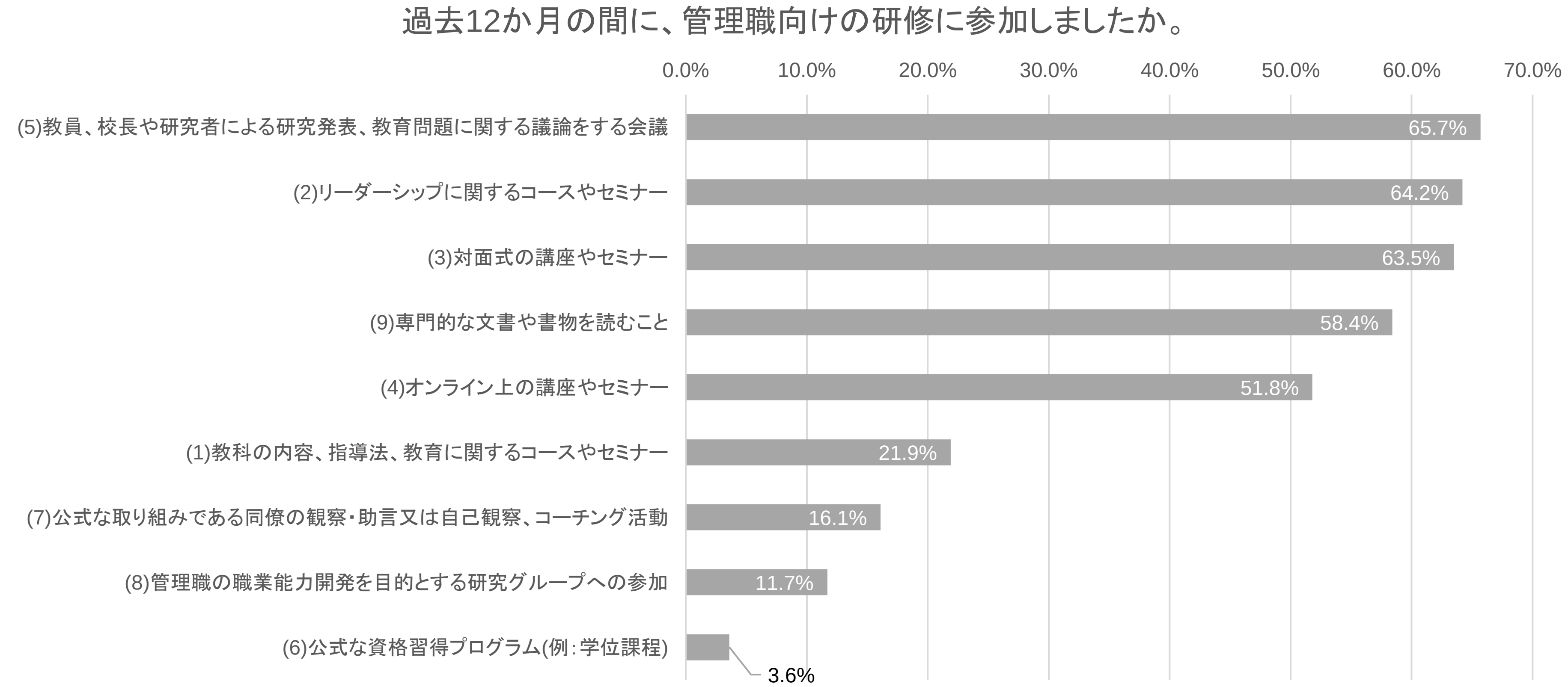
（回答数（人）／割合（%））

	(4) 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革	(7) 子どもの権利・安全の保障	(11) 福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援	(14) 文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実	(5) これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進	(13) 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり	(3) 探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上
4：重要である	77人 / 59.2%	63人 / 48.8%	46人 / 35.4%	50人 / 38.5%	46人 / 35.7%	40人 / 30.8%	32人 / 24.8%
3：やや重要である	43人 / 33.1%	52人 / 40.3%	68人 / 52.3%	57人 / 43.8%	60人 / 46.5%	57人 / 43.8%	61人 / 47.3%
2：あまり重要ではない	6人 / 4.6%	13人 / 10.1%	14人 / 10.8%	19人 / 14.6%	19人 / 14.7%	28人 / 21.5%	24人 / 18.6%
1：重要ではない	4人 / 3.1%	1人 / 0.8%	2人 / 1.5%	4人 / 3.1%	4人 / 3.1%	5人 / 3.8%	12人 / 9.3%
回答母数（n=）	130人	129人	130人	130人	129人	130人	129人

	(10) 一人ひとりの特性に応じた学びの追求	(2) 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化	(8) 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化	(9) インクルーシブな教育の一層の推進	(1) デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	(12) 共学共創による地域づくり	(6) 信州教育の魅力向上・発信
4：重要である	31人 / 23.8%	31人 / 24.0%	31人 / 24.0%	27人 / 20.9%	31人 / 23.8%	25人 / 19.4%	29人 / 22.3%
3：やや重要である	62人 / 47.7%	61人 / 47.3%	60人 / 46.5%	64人 / 49.6%	57人 / 43.8%	59人 / 45.7%	52人 / 40.0%
2：あまり重要ではない	31人 / 23.8%	28人 / 21.7%	30人 / 23.3%	31人 / 24.0%	29人 / 22.3%	39人 / 30.2%	34人 / 26.2%
1：重要ではない	6人 / 4.6%	9人 / 7.0%	8人 / 6.2%	7人 / 5.4%	13人 / 10.0%	6人 / 4.7%	15人 / 11.5%
回答母数（n=）	130人	129人	129人	129人	130人	129人	130人

管理職

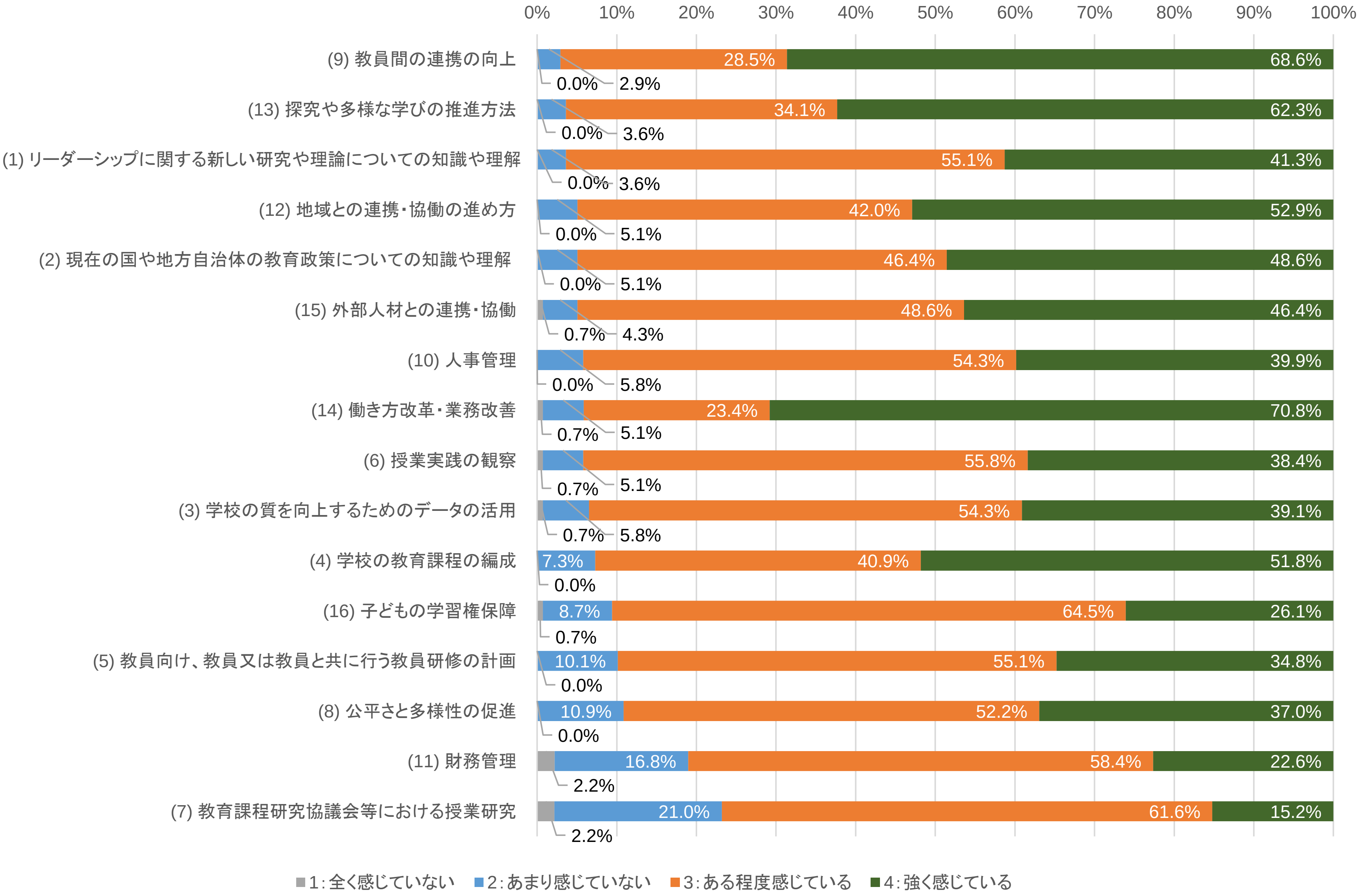
（高等学校）



（回答数（人）／割合（%））

	(5)教員、校長や研究者による研究発表、教育問題に関する議論をする会議	(2)リーダーシップに関するコースやセミナー	(3)対面式の講座やセミナー	(9)専門的な文書や書物を読むこと	(4)オンライン上の講座やセミナー	(1)教科の内容、指導法、教育に関するコースやセミナー	(7)公式な取り組みである同僚の観察・助言又は自己観察、コーチング活動	(8)管理職の職業能力開発を目的とする研究グループへの参加	(6)公式な資格習得プログラム(例：学位課程)
人数 / パーセンテージ	90人 / 65.7%	88人 / 64.2%	87人 / 63.5%	80人 / 58.4%	71人 / 51.8%	30人 / 21.9%	22人 / 16.1%	16人 / 11.7%	5人 / 3.6%
回答母数（n=）	137人								

以下の各領域について、それぞれどの程度研修の必要性を感じていますか。



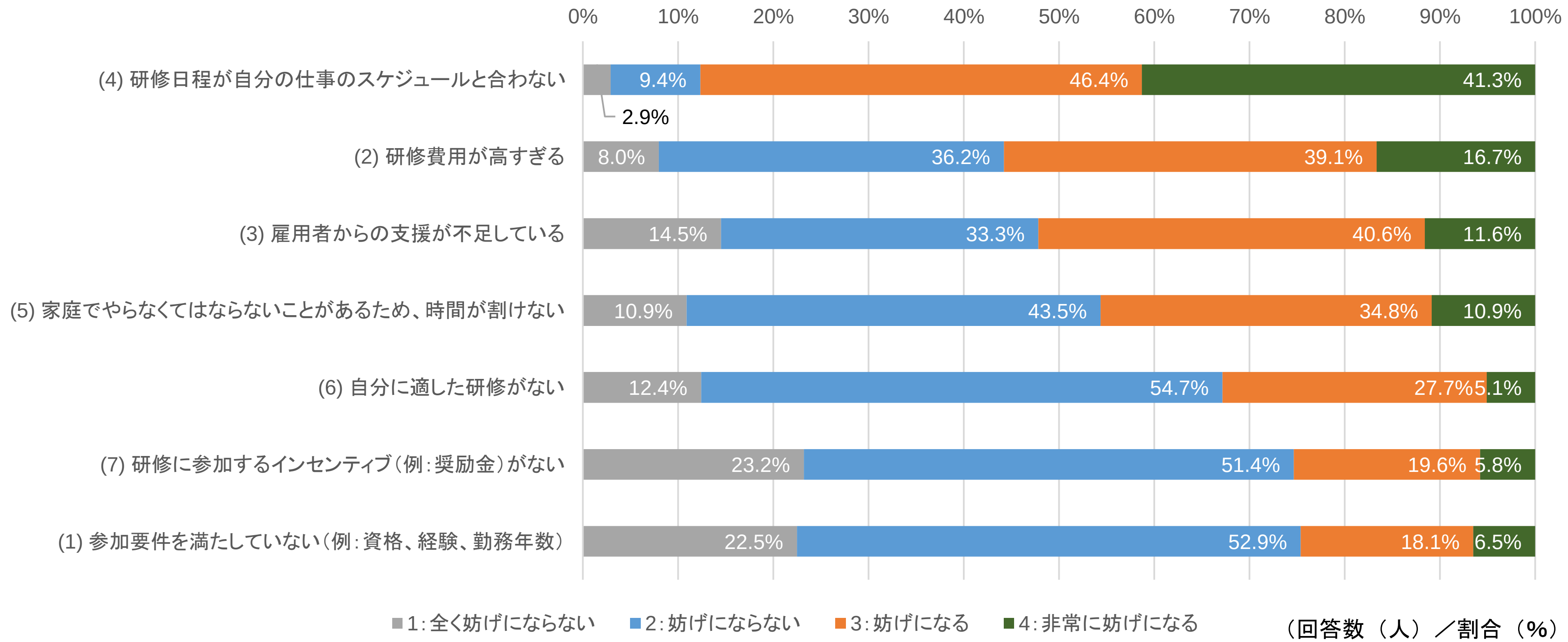
以下の各領域について、それぞれどの程度研修の必要性を感じていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(9) 教員間の連携の向上	(13) 探究や多様な学びの推進方法	(1) リーダーシップに関する新しい研究や理論についての知識や理解	(12) 地域との連携・協働の進め方	(2) 現在の国や地方自治体の教育政策についての知識や理解	(15) 外部人材との連携・協働	(10) 人事管理	(14) 働き方改革・業務改善
4：強く感じている	94人 / 68.6%	86人 / 62.3%	57人 / 41.3%	73人 / 52.9%	67人 / 48.6%	64人 / 46.4%	55人 / 39.9%	97人 / 70.8%
3：ある程度感じている	39人 / 28.5%	47人 / 34.1%	76人 / 55.1%	58人 / 42.0%	64人 / 46.4%	67人 / 48.6%	75人 / 54.3%	32人 / 23.4%
2：あまり感じていない	4人 / 2.9%	5人 / 3.6%	5人 / 3.6%	7人 / 5.1%	7人 / 5.1%	6人 / 4.3%	8人 / 5.8%	7人 / 5.1%
1：全く感じていない	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%
回答母数（n=）	137人	138人	138人	138人	138人	138人	138人	137人

	(6) 授業実践の観察	(3) 学校の質を向上するためのデータの活用	(4) 学校の教育課程の編成	(16) 子どもの学習権保障	(5) 教員向け、教員又は教員と共に行う教員研修の計画	(8) 公平さと多様性の促進	(11) 財務管理	(7) 教育課程研究協議会等における授業研究
4：強く感じている	53人 / 38.4%	54人 / 39.1%	71人 / 51.8%	36人 / 26.1%	48人 / 34.8%	51人 / 37.0%	31人 / 22.6%	21人 / 15.2%
3：ある程度感じている	77人 / 55.8%	75人 / 54.3%	56人 / 40.9%	89人 / 64.5%	76人 / 55.1%	72人 / 52.2%	80人 / 58.4%	85人 / 61.6%
2：あまり感じていない	7人 / 5.1%	8人 / 5.8%	10人 / 7.3%	12人 / 8.7%	14人 / 10.1%	15人 / 10.9%	23人 / 16.8%	29人 / 21.0%
1：全く感じていない	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	3人 / 2.2%	3人 / 2.2%
回答母数（n=）	138人	138人	137人	138人	138人	138人	137人	138人

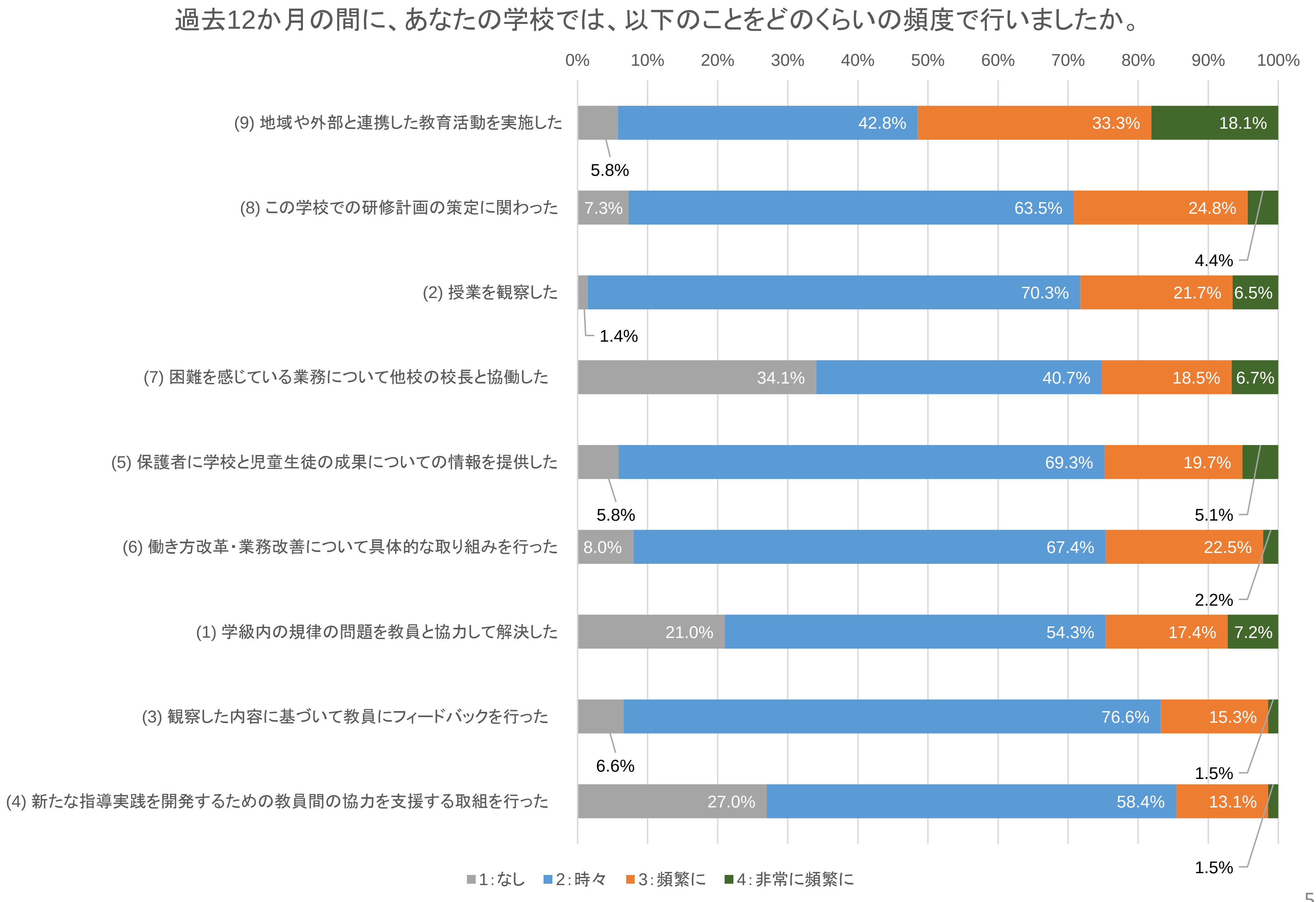
研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると思いますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(4) 研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない	(2) 研修費用が高すぎる	(3) 雇用者からの支援が不足している	(5) 家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない	(6) 自分に適した研修がない	(7) 研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない	(1) 参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数）
4：非常に妨げになる	57人 / 41.3%	23人 / 16.7%	16人 / 11.6%	15人 / 10.9%	7人 / 5.1%	8人 / 5.8%	9人 / 6.5%
3：妨げになる	64人 / 46.4%	54人 / 39.1%	56人 / 40.6%	48人 / 34.8%	38人 / 27.7%	27人 / 19.6%	25人 / 18.1%
2：妨げにならない	13人 / 9.4%	50人 / 36.2%	46人 / 33.3%	60人 / 43.5%	75人 / 54.7%	71人 / 51.4%	73人 / 52.9%
1：全く妨げにならない	4人 / 2.9%	11人 / 8.0%	20人 / 14.5%	15人 / 10.9%	17人 / 12.4%	32人 / 23.2%	31人 / 22.5%
回答母数（n=）	138人	138人	138人	138人	137人	138人	138人

管理職：高等学校



過去12か月の間に、あなたの学校では、以下のことをどのくらいの頻度で行いましたか。
0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
100%
(9) 地域や外部と連携した教育活動を実施した
5.8%
42.8%
33.3%
18.1%
(8) この学校での研修計画の策定に関わった
7.3%
63.5%
24.8%
4.4%
(2) 授業を観察した
1.4%
70.3%
21.7%
6.5%
(7) 困難を感じている業務について他校の校長と協働した
34.1%
40.7%
18.5%
6.7%
(5) 保護者に学校と児童生徒の成果についての情報を提供した
5.8%
69.3%
19.7%
5.1%
(6) 働き方改革・業務改善について具体的な取り組みを行った
8.0%
67.4%
22.5%
2.2%
(1) 学級内の規律の問題を教員と協力して解決した
21.0%
54.3%
17.4%
7.2%
(3) 観察した内容に基づいて教員にフィードバックを行った
6.6%
76.6%
15.3%
1.5%
(4) 新たな指導実践を開発するための教員間の協力を支援する取組を行った
27.0%
58.4%
13.1%
1.5%
1：なし
2：時々
3：頻繁に
4：非常に頻繁に

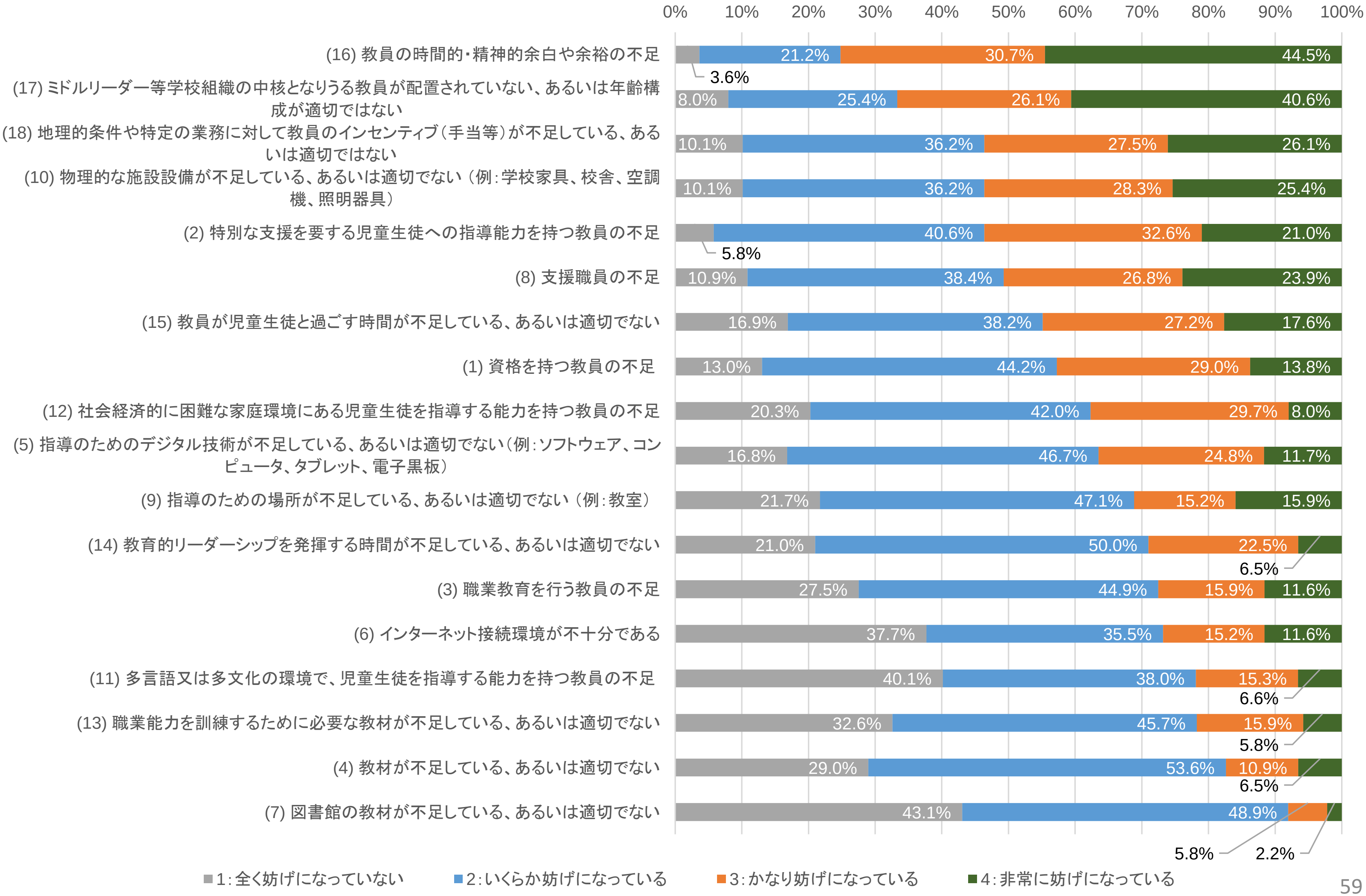
過去12か月の間に、あなたの学校では、以下のことをどのくらいの頻度で行いましたか。

（回答数（人）／割合（%））

	(9) 地域や外部と連携した教育活動を実施した	(8) この学校での研修計画の策定に関わった	(2) 授業を観察した	(7) 困難を感じている業務について他校の校長と協働した
4：非常に頻繁に	25人 / 18.1%	6人 / 4.4%	9人 / 6.5%	9人 / 6.7%
3：頻繁に	46人 / 33.3%	34人 / 24.8%	30人 / 21.7%	25人 / 18.5%
2：時々	59人 / 42.8%	87人 / 63.5%	97人 / 70.3%	55人 / 40.7%
1：なし	8人 / 5.8%	10人 / 7.3%	2人 / 1.4%	46人 / 34.1%
回答母数（n=）	138人	137人	138人	135人

	(5) 保護者に学校と児童生徒の成果についての情報を提供した	(6) 働き方改革・業務改善について具体的な取り組みを行った	(1) 学級内の規律の問題を教員と協力して解決した	(3) 観察した内容に基づいて教員にフィードバックを行った	(4) 新たな指導実践を開発するための教員間の協力を支援する取組を行った
4：非常に頻繁に	7人 / 5.1%	3人 / 2.2%	10人 / 7.2%	2人 / 1.5%	2人 / 1.5%
3：頻繁に	27人 / 19.7%	31人 / 22.5%	24人 / 17.4%	21人 / 15.3%	18人 / 13.1%
2：時々	95人 / 69.3%	93人 / 67.4%	75人 / 54.3%	105人 / 76.6%	80人 / 58.4%
1：なし	8人 / 5.8%	11人 / 8.0%	29人 / 21.0%	9人 / 6.6%	37人 / 27.0%
回答母数（n=）	137人	138人	138人	137人	137人

あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。

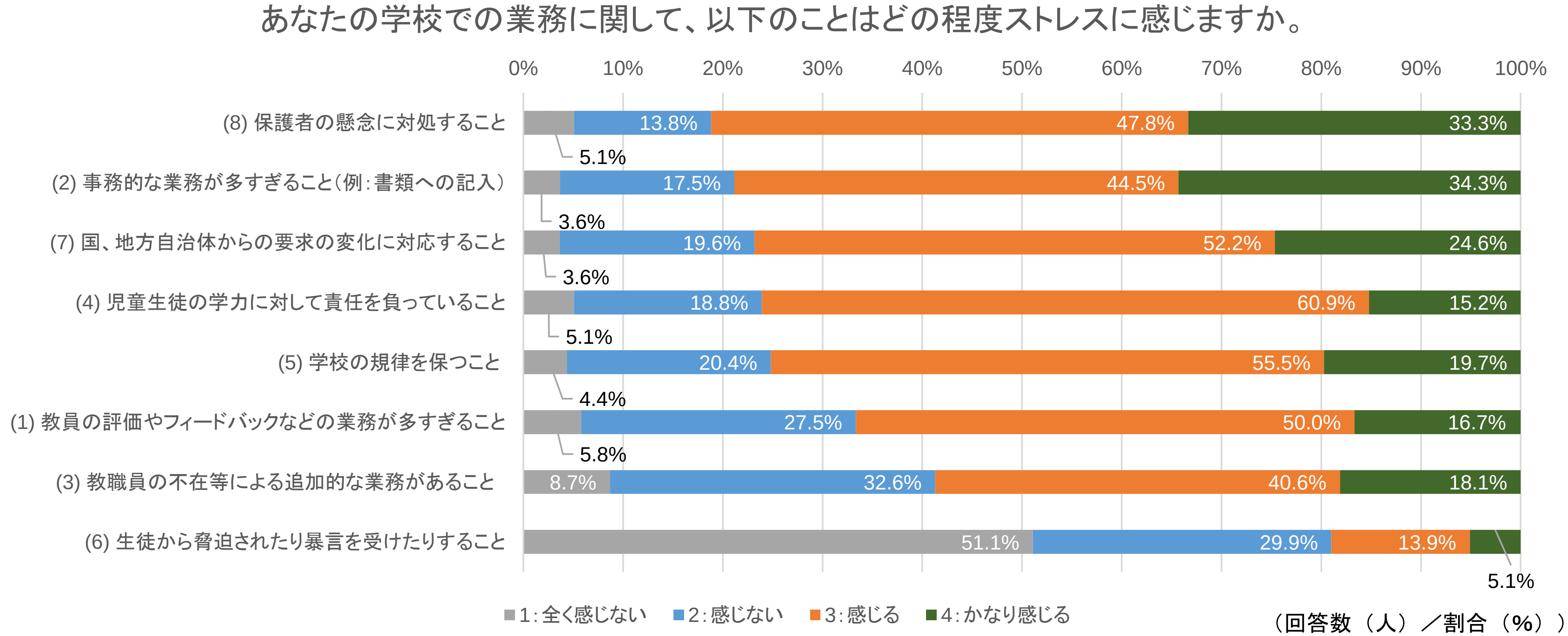


あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。

（回答数（人）／割合（%））

	(16) 教員の時間的・精神的余白や余裕の不足	(17) ミドルリーダー等学校組織の中核となりうる教員が配置されていない、あるいは年齢構成が適切ではない	(18) 地理的条件や特定の業務に対して教員のインセンティブ（手当等）が不足している、あるいは適切ではない	(10) 物理的な施設設備が不足している、あるいは適切でない（例：学校家具、校舎、空調機、照明器具）	(2) 特別な支援を要する児童生徒への指導能力を持つ教員の不足	(8) 支援職員の不足	(15) 教員が児童生徒と過ごす時間が不足している、あるいは適切でない	(1) 資格を持つ教員の不足	(12) 社会経済的に困難な家庭環境にある児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足
4：非常に妨げになっている	61人 / 44.5%	56人 / 40.6%	36人 / 26.1%	35人 / 25.4%	29人 / 21.0%	33人 / 23.9%	24人 / 17.6%	19人 / 13.8%	11人 / 8.0%
3：かなり妨げになっている	42人 / 30.7%	36人 / 26.1%	38人 / 27.5%	39人 / 28.3%	45人 / 32.6%	37人 / 26.8%	37人 / 27.2%	40人 / 29.0%	41人 / 29.7%
2：いくらか妨げになっている	29人 / 21.2%	35人 / 25.4%	50人 / 36.2%	50人 / 36.2%	56人 / 40.6%	53人 / 38.4%	52人 / 38.2%	61人 / 44.2%	58人 / 42.0%
1：全く妨げになっていない	5人 / 3.6%	11人 / 8.0%	14人 / 10.1%	14人 / 10.1%	8人 / 5.8%	15人 / 10.9%	23人 / 16.9%	18人 / 13.0%	28人 / 20.3%
回答母数（n=）	137人	138人	138人	138人	138人	138人	136人	138人	138人

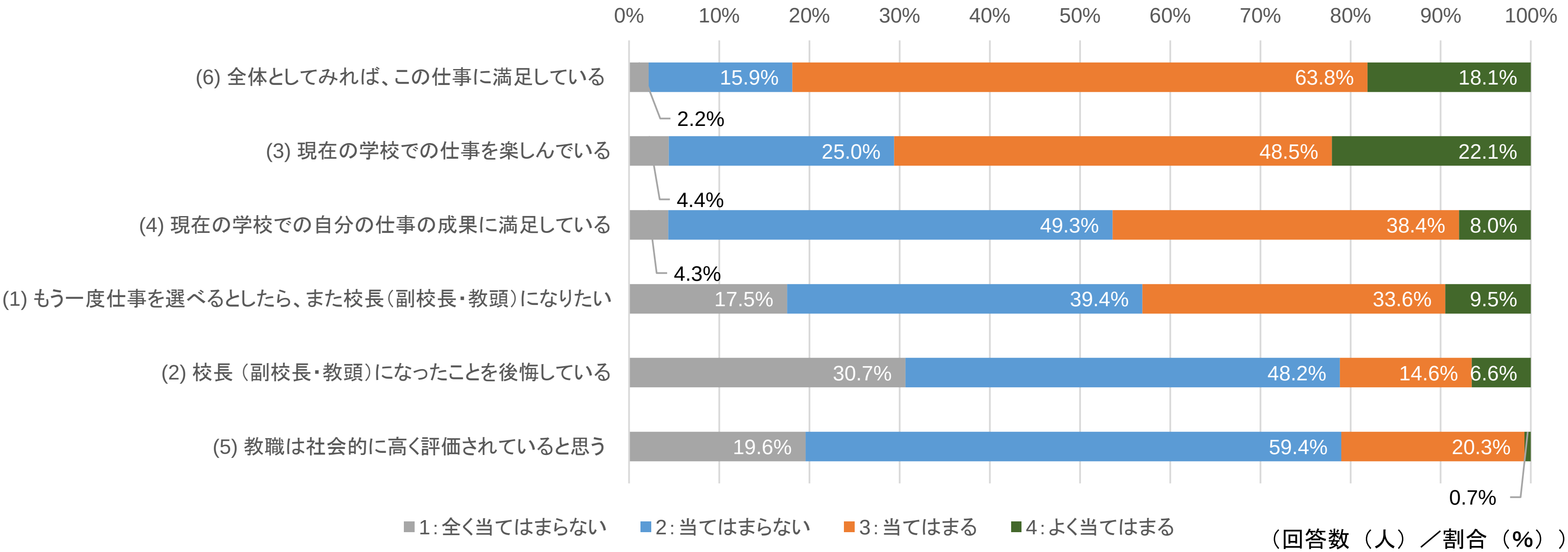
	(5) 指導のためのデジタル技術が不足している、あるいは適切でない（例：ソフトウェア、コンピュータ、タブレット、電子黒板）	(9) 指導のための場所が不足している、あるいは適切でない（例：教室）	(14) 教育的リーダーシップを発揮する時間が不足している、あるいは適切でない	(3) 職業教育を行う教員の不足	(6) インターネット接続環境が不十分である	(11) 多言語又は多文化の環境で、児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足	(13) 職業能力を訓練するために必要な教材が不足している、あるいは適切でない	(4) 教材が不足している、あるいは適切でない	(7) 図書館の教材が不足している、あるいは適切でない
4：非常に妨げになっている	16人 / 11.7%	22人 / 15.9%	9人 / 6.5%	16人 / 11.6%	16人 / 11.6%	9人 / 6.6%	8人 / 5.8%	9人 / 6.5%	3人 / 2.2%
3：かなり妨げになっている	34人 / 24.8%	21人 / 15.2%	31人 / 22.5%	22人 / 15.9%	21人 / 15.2%	21人 / 15.3%	22人 / 15.9%	15人 / 10.9%	8人 / 5.8%
2：いくらか妨げになっている	64人 / 46.7%	65人 / 47.1%	69人 / 50.0%	62人 / 44.9%	49人 / 35.5%	52人 / 38.0%	63人 / 45.7%	74人 / 53.6%	67人 / 48.9%
1：全く妨げになっていない	23人 / 16.8%	30人 / 21.7%	29人 / 21.0%	38人 / 27.5%	52人 / 37.7%	55人 / 40.1%	45人 / 32.6%	40人 / 29.0%	59人 / 43.1%
回答母数（n=）	137人	138人	138人	138人	138人	137人	138人	138人	137人



（回答数（人）／割合（%））

	(8) 保護者の懸念に対処すること	(2) 事務的な業務が多すぎること（例：書類への記入）	(7) 国、地方自治体からの要求の変化に対応すること	(4) 児童生徒の学力に対して責任を負っていること	(5) 学校の規律を保つこと	(1) 教員の評価やフィードバックなどの業務が多すぎること	(3) 教職員の不在等による追加的な業務があること	(6) 生徒から脅迫されたり暴言を受けたりすること
4：かなり感じる	46人 / 33.3%	47人 / 34.3%	34人 / 24.6%	21人 / 15.2%	27人 / 19.7%	23人 / 16.7%	25人 / 18.1%	7人 / 5.1%
3：感じる	66人 / 47.8%	61人 / 44.5%	72人 / 52.2%	84人 / 60.9%	76人 / 55.5%	69人 / 50.0%	56人 / 40.6%	19人 / 13.9%
2：感じない	19人 / 13.8%	24人 / 17.5%	27人 / 19.6%	26人 / 18.8%	28人 / 20.4%	38人 / 27.5%	45人 / 32.6%	41人 / 29.9%
1：全く感じない	7人 / 5.1%	5人 / 3.6%	5人 / 3.6%	7人 / 5.1%	6人 / 4.4%	8人 / 5.8%	12人 / 8.7%	70人 / 51.1%
回答母数（n=）	138人	137人	138人	138人	137人	138人	138人	137人

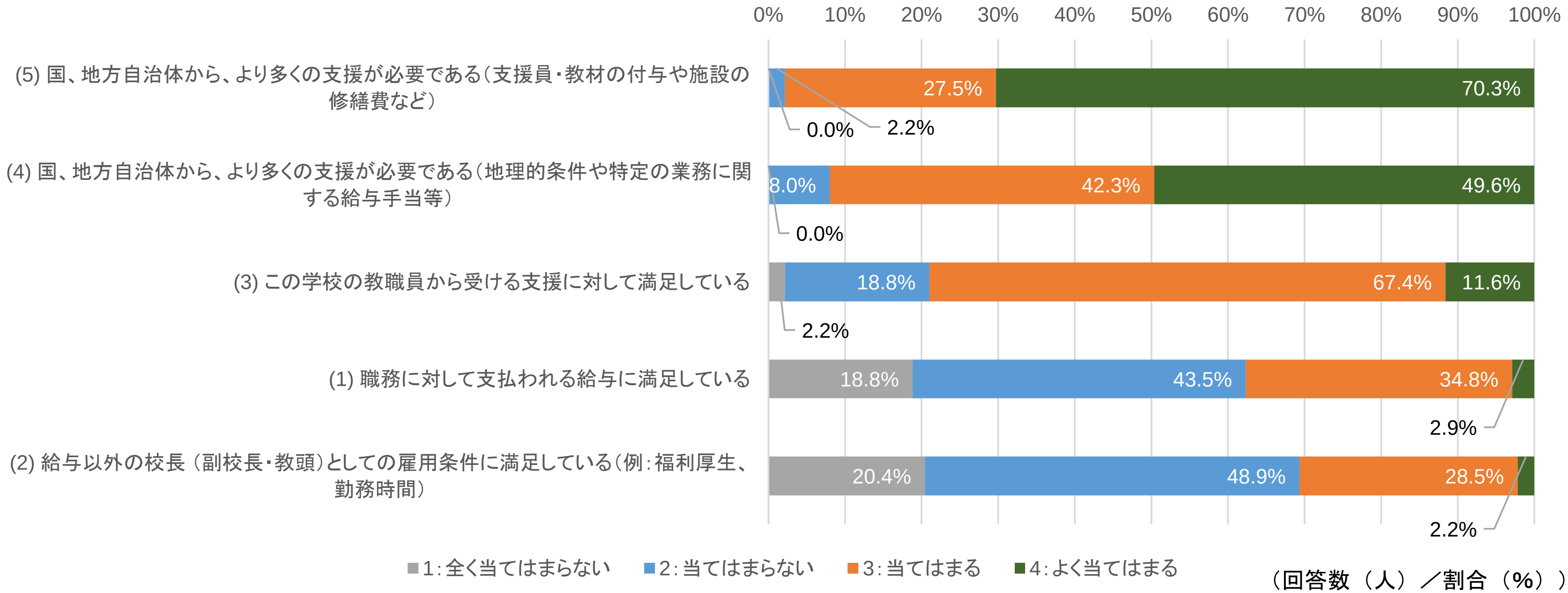
あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。



（回答数（人）／割合（%））

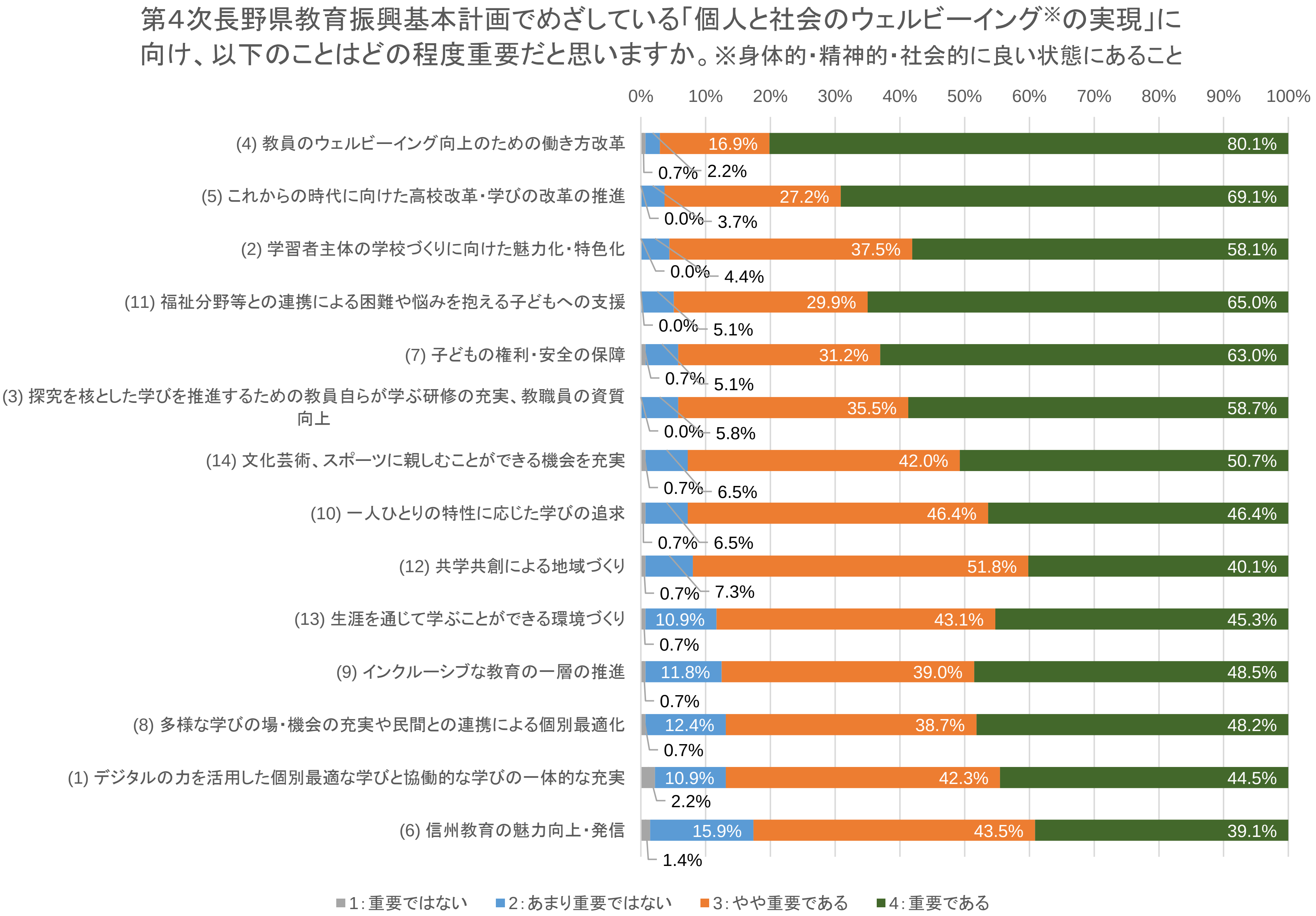
	(6) 全体としてみれば、この仕事に満足している	(3) 現在の学校での仕事を楽しんでいる	(4) 現在の学校での自分の仕事の成果に満足している	(1) もう一度仕事を選べるとしたら、また校長（副校長・教頭）になりたい	(2) 校長（副校長・教頭）になったことを後悔している	(5) 教職は社会的に高く評価されていると思う
4：よく当てはまる	25人 / 18.1%	30人 / 22.1%	11人 / 8.0%	13人 / 9.5%	9人 / 6.6%	1人 / 0.7%
3：当てはまる	88人 / 63.8%	66人 / 48.5%	53人 / 38.4%	46人 / 33.6%	20人 / 14.6%	28人 / 20.3%
2：当てはまらない	22人 / 15.9%	34人 / 25.0%	68人 / 49.3%	54人 / 39.4%	66人 / 48.2%	82人 / 59.4%
1：全く当てはまらない	3人 / 2.2%	6人 / 4.4%	6人 / 4.3%	24人 / 17.5%	42人 / 30.7%	27人 / 19.6%
回答母数（n=）	138人	136人	138人	137人	137人	138人

以下のことはどの程度当てはまりますか。



（回答数（人）／割合（%））

	(5) 国、地方自治体から、より多くの支援が必要である（支援員・教材の付与や施設の修繕費など）	(4) 国、地方自治体から、より多くの支援が必要である（地理的条件や特定の業務に関する給与手当等）	(3) この学校の教職員から受ける支援に対して満足している	(1) 職務に対して支払われる給与に満足している	(2) 給与以外の校長（副校長・教頭）としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間）
4：よく当てはまる	97人 / 70.3%	68人 / 49.6%	16人 / 11.6%	4人 / 2.9%	3人 / 2.2%
3：当てはまる	38人 / 27.5%	58人 / 42.3%	93人 / 67.4%	48人 / 34.8%	39人 / 28.5%
2：当てはまらない	3人 / 2.2%	11人 / 8.0%	26人 / 18.8%	60人 / 43.5%	67人 / 48.9%
1：全く当てはまらない	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	3人 / 2.2%	26人 / 18.8%	28人 / 20.4%
回答母数（n=）	138人	137人	138人	138人	137人


第4次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%
(4) 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 0.7% 2.2% 16.9% 80.1%
(5) これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進 0.0% 3.7% 27.2% 69.1%
(2) 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 0.0% 4.4% 37.5% 58.1%
(11) 福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援 0.0% 5.1% 29.9% 65.0%
(7) 子どもの権利・安全の保障 0.7% 5.1% 31.2% 63.0%
(3) 探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上 0.0% 5.8% 35.5% 58.7%
(14) 文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実 0.7% 6.5% 42.0% 50.7%
(10) 一人ひとりの特性に応じた学びの追求 0.7% 6.5% 46.4% 46.4%
(12) 共学共創による地域づくり 0.7% 7.3% 51.8% 40.1%
(13) 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり 0.7% 10.9% 43.1% 45.3%
(9) インクルーシブな教育の一層の推進 0.7% 11.8% 39.0% 48.5%
(8) 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 0.7% 12.4% 38.7% 48.2%
(1) デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 2.2% 10.9% 42.3% 44.5%
(6) 信州教育の魅力向上・発信 1.4% 15.9% 43.5% 39.1%
1:重要ではない
2:あまり重要ではない
3:やや重要である
4:重要である

第４次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング※の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること

（回答数（人）／割合（%））

	(4) 教員のウェルビーイング向上のための働き方改革	(5) これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進	(2) 学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化	(11) 福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援	(7) 子どもの権利・安全の保障	(3) 探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上	(14) 文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実
4：重要である	109人 / 80.1%	94人 / 69.1%	79人 / 58.1%	89人 / 65.0%	87人 / 63.0%	81人 / 58.7%	70人 / 50.7%
3：やや重要である	23人 / 16.9%	37人 / 27.2%	51人 / 37.5%	41人 / 29.9%	43人 / 31.2%	49人 / 35.5%	58人 / 42.0%
2：あまり重要ではない	3人 / 2.2%	5人 / 3.7%	6人 / 4.4%	7人 / 5.1%	7人 / 5.1%	8人 / 5.8%	9人 / 6.5%
1：重要ではない	1人 / 0.7%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%	0人 / 0.0%	1人 / 0.7%
回答母数（n=）	136人	136人	136人	137人	138人	138人	138人

	(10) 一人ひとりの特性に応じた学びの追求	(12) 共学共創による地域づくり	(13) 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり	(9) インクルーシブな教育の一層の推進	(8) 多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化	(1) デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	(6) 信州教育の魅力向上・発信
4：重要である	64人 / 46.4%	55人 / 40.1%	62人 / 45.3%	66人 / 48.5%	66人 / 48.2%	61人 / 44.5%	54人 / 39.1%
3：やや重要である	64人 / 46.4%	71人 / 51.8%	59人 / 43.1%	53人 / 39.0%	53人 / 38.7%	58人 / 42.3%	60人 / 43.5%
2：あまり重要ではない	9人 / 6.5%	10人 / 7.3%	15人 / 10.9%	16人 / 11.8%	17人 / 12.4%	15人 / 10.9%	22上 / 15.9%
1：重要ではない	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	1人 / 0.7%	3人 / 2.2%	2人 / 1.4%
回答母数（n=）	138人	137人	137人	136人	137人	137人	138人